



北海道立函館美術館年報



2019 - 2020 (平成31/令和元 - 2) 年度

北海道立函館美術館年報

2019 - 2020 (平成31/令和元 - 2) 年度

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

目次

展覧会事業

ミュージアム・コレクション

1.近代彫刻……………	4
2.鷗亭記念室……………	5
3.常設展示室……………	9

特別展

平成31/令和元-2年度特別展一覧……………	13
世界の名作絵本原画がやって来た！ 剣淵町絵本の館コレクション……………	15
ミュシャ展 運命の女たち……………	18
タグチ・アートコレクション 球体のパレット……………	23
川端康成生誕120年記念 金子鷗亭「川端文学燦文集」……………	26
没後30年 橋本三郎展/生誕100年 鶴川五郎展 愛するひと やなせたかしの世界……………	33
36	
《道産子追憶之巻》と日本画の名品 道立近代美術館コレクション選/	
道産子日本画家のニューフェイス 葛西由香の世襲 リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅……………	40
44	
色もよう心もよう……………	50
海と山との対話……………	53

教育普及事業

1.美術講演会……………	56
2.アーティスト・トーク……………	56
3.ギャラリー・トーク……………	56
4.特別展セミナー……………	56
5.ギャラリー・ツアー……………	57
6.ファミリー・ツアー……………	58
7.美術映画会……………	58
8.キッズ・シアター……………	58
9.コンサート……………	60
10.マジカル・ワークショップ……………	59
11.ワークショップ……………	61
12.書道ワークショップ……………	62
13.ハコビ・アトリエ……………	63
14.絵本のよみきかせ……………	63
15.波響ぐるっと4館ツアー……………	64
16.美術と味覚のイベント……………	64
17.その他のイベント……………	64
18.その他のプログラム……………	66
19.出張アート教室……………	66
20.道立函館美術館活用学習のための指導者研修……………	66
21.教員のための鑑賞研修……………	67
22.博物館実習……………	68

美術作品の収集

平成31/令和元年度作品収集状況・収集作品一覧……………	69
令和2年度作品収集状況・収集作品一覧……………	71
収集作品図版目録……………	73
美術作品の貸出……………	104
貸館事業(書道展)……………	106
刊行物……………	106
展覧会別観覧状況……………	107
関係者名簿及び職員……………	108
沿革……………	109
建築設備概要……………	110

● 展覧会事業

ミュージアム・コレクション

館内中央ホール、ロビー、中庭、前庭には、ロダン、ブールデル、ルノワールなどの西洋近代彫刻ならびに日本の近代彫刻を展示している。また、書と東洋美術を展示する鷗亭記念室と、主に道南ゆかりの美術や現代美術を紹介する常設展示室において、年3回の展示替えを行いながら、当館の所蔵品および受託作品を紹介している。

1. 近代彫刻

ホールには、ヨーロッパの近代彫刻を代表するロダン、ブールデルの作品のほか、ルノワールの彫刻作品《勝利のヴィーナス》を、ロビー・中庭には西洋および日本の近代彫刻を展示している。また、前庭にはモニュメントとして、ブールデルの《自由》《サッフオー》を展示している。

(ホール展示作品)

オーギュスト・ロダン	《衣をまとったバルザック》	1897
オーギュスト・ルノワール	《勝利のヴィーナス》	1915-16
エミール=アントワヌ・ブールデル	《衣をまとったベートーヴェン》	1910
〃	《聖母子(アルザスの聖母像)》	1919-20
〃	《ベートーヴェンの首》	1929
小川 誠	《祈り》	1999

(ロビー展示作品)

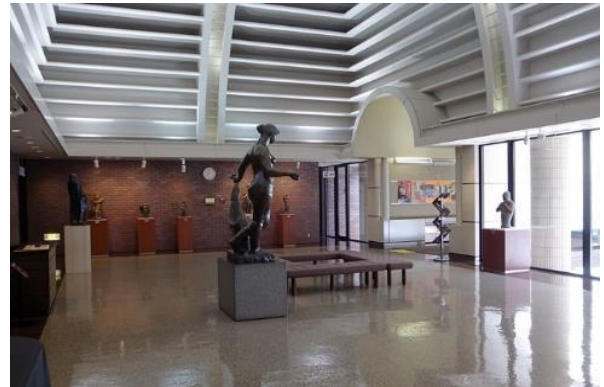
エミール=アントワヌ・ブールデル	《果実》	1911
〃	《悲愴(十字架のベートーヴェン)》	1929
北村 治禧	《心の舞》	1983(昭和58)
古賀 忠雄	《平和》	1965(昭和40)
〃	《草原の朝(馬と少年)》	1970(昭和45)

(中庭展示作品)

池田 譲	《□<〇》	1995(平成7)
池田 譲	《作品9706》	1997(平成9)

(前庭展示作品)

エミール=アントワヌ・ブールデル	《自由》	1923
〃	《サッフオー》	1925



ホール



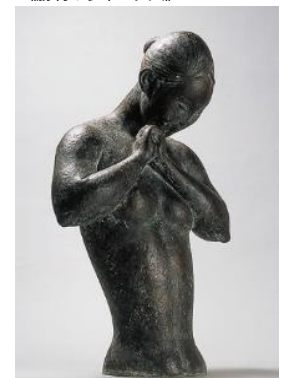
オーギュスト・ロダン
《衣をまとったバルザック》



オーギュスト・ルノワール
《勝利のヴィーナス》



中庭 池田 譲 《作品9706》



小川 誠 《祈り》



美術館全景



エミール=アントワヌ・ブールデル
《自由》



エミール=アントワヌ・ブールデル
《サッフオー》

2. 鷗亭記念室

松前出身の書家、金子鷗亭の作品をはじめとする日本の近現代の書家の作品、そして鷗亭から寄贈された中国・日本の絵画、中国・朝鮮の工芸品、中国の書家の作品など、書と東洋美術の世界を中心に展示紹介するほか、常設展示室と共通するテーマ展示も行っている。

平成31/令和元年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春～夏： 鳥たちのささやき	2019. 4. 18(木)～8. 25(日)	103	10,378	愛らしい小鳥から、堂々たる猛禽まで、アートに表現された鳥たちの姿を題材をモチーフにした作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション秋～冬： ハコビ・コレクションの現代アート	2019. 9. 7(土)～2020. 2. 2(日)	115	6,417	当館のコレクションから、文字や記号をモチーフとする現代美術の秀作を展示。 ※常設展示室と共通のテーマによる展示
3	ミュージアム・コレクション冬～春： 良寛さ～ん！	2020. 2. 8(土)～3. 31(水)	45	545	良寛の書作品および、良寛の書にならった現代書を展示。

令和2年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション冬～春： 良寛さ～ん！	2020. 4. 1(木)～4. 5(日)	5	257	良寛の書作品および、良寛の書にならった現代書を展示。
2	ミュージアム・コレクション春～夏： 鷗亭と啄木	2020. 4. 25(土)～8. 30(日)	66	3,375	石川啄木の短歌をモチーフにした金子鷗亭の作品を展示。
3	ミュージアム・コレクション秋～冬： 東洋陶磁の美—鷗亭コレクションから	2020. 10. 3(土)～2021. 1. 31(日)	97	5,645	書家・鷗亭の審美眼を語る中国と朝鮮半島の陶磁を展示。
4	ミュージアム・コレクション冬～春： 鷗亭と白秋	2021. 2. 6(土)～3. 31(水)	46	1,305	詩人・北原白秋の詩による鷗亭の書を展示。

鷗亭記念室出品目録

平成31/令和元年度

2019.4.18(木)～8.25(日) ミュージアム・コレクション春～夏:鳥たちのささやき

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵・展示替え
1		青磁鴨形水滴	高麗時代(14世紀)	陶磁	12.0×2.5×6.0	
2		古九谷瑞鳥文皿	江戸前期	陶磁	20.0×20.0×3.0	
3		古九谷雲雁文五彩七寸皿	江戸前期	陶磁	20.5×20.5×3.0	
4	浅倉五十吉	花と鳩(九谷)	1985(昭和60)	陶磁	25.0×25.0×3.0	
5		青磁陰刻鳳凰文鉢	高麗時代(14世紀)	陶磁	18.5×18.5×8.0	
6		青磁陰刻雲鶴文茶碗	高麗時代(14世紀)	陶磁	14.5×14.5×5.0	
7		李朝文字絵	朝鮮時代	紙本彩色・軸	50.0×30.0	
8	北條玉洞	鶏朝顔図	不詳	紙本彩色・軸	113.2×41.9	函館市蔵(当館受託)
9	蠣崎波響	名鷹図	1815(文化12)	絹本彩色・軸	100.4×43.8	4/18(木)～6/9(日)展示
10	蠣崎波響	瑞鶴祥雛(愛子鶴図)	1826(文政9)	絹本彩色・軸	98.0×34.0	6/29(土)～8/25(日)展示
11	山口蓬春	瑞鶴	1943(昭和18)	絹本彩色・軸	141.5×50.8	4/18(木)～6/9(日)展示
12	野田九浦	香妃出獵	1948(昭和23)	絹本彩色・軸	144.5×55.6	6/29(土)～8/25(日)展示
13	蠣崎波響	草花鳥獣人物図屏風	1813(文化10)	紙本彩色・屏風(六曲一双)	(各)174.5×355.0	個人蔵 4/18(木)～6/9(日)展示
14	北上聖牛	竹図	1925(大正14)頃	絹本彩色・屏風(六曲一隻)	168.5×372.0	6/29(土)～8/25(日)展示
15	橋本三郎	鶏(シヤモ)	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
16	高森明	カスベ・鳥	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	161.5×129.5	
17		呉須赤絵花鳥文大皿	明代末期	陶磁	38.5×38.5×9.5	
18		白磁染付鶴文瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	25.0×25.0×33.0	
19	長沼透石	忘	2002(平成14)	墨・紙	180.0×90.0	4/18(木)～6/9(日)展示
20	長沼透石	春夏秋冬(トンパ文字による)	2003(平成15)	墨・紙	120.0×120.0	4/18(木)～6/9(日)展示
21	長沼透石	無為自然	1990(平成2)	墨・紙	72.0×174.0	6/29(土)～8/25(日)展示

2019.9.7(土)～2020.2.2(日) ミュージアム・コレクション秋～冬:ハコビ・コレクションの現代アート

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	荒木高子	砂の聖書	1985(昭和60)	シャモット	57.0×33.3×14.1	
2	荒木高子	岩の聖書	1987(昭和62)	シャモット	63.0×46.0×15.0	
3-1	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:オールド・ファッション・ベジタブル	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-2	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:スコッチ・ブロス	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-3	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ベジタリアン・ベジタブル	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-4	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ニューイングランド・クラムチャウダー	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-5	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:チキン・ダンプリング	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-6	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ホット・ドッグ・ビーコン	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-7	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:オイスター・シチュー	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-8	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:トマト・ビーフ・ヌードル	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-9	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ゴールデン・マッシュルーム	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3-10	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:チェダー・チーズ	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
11	岡田博	RED	1971(昭和46)	アクリル・キャンバス	72.8×103.0	
12	郭徳俊	フォードと郭(A)	1975(昭和50)	リトグラフ・紙	45.3×33.1	
13	河原温	Nov.23, 1971 Todayシリーズ(1966-2013)より	1971(昭和46)	アクリル・キャンバス	25.4×33.0	
14	金昌烈	解体	1985～88	油彩・麻布、他	193.5×290.5	
15	金昌烈	水滴	1986	油彩・麻布	162.5×97.0	
16	バーバラ・クルーガー	無題(We will undo you)	1981～83	写真・ボード	185.0×124.0	
17	ジョセフ・コースス	題(芸術としての芸術という概念)	1967	印刷・板	125.0×125.0	
18	篠田桃紅	漸く	1991(平成3)	墨・銀泥・紙	180.2×136.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵・展示替え
19	高松次郎	この七つの文字	1970(昭和45)	オフセット・紙	61.0×25.0	
20	高松次郎	THESE THREE WORDS	1970(昭和45)	オフセット・紙	80.0×56.0	
21	平林薫	五十一音一箱	1985(昭和60)	杉板、ベニヤ板、紙粘土ほか(51点組)	各50.0×20.5×50.0 (各箱は開閉式で、開閉角度により幅と奥行は約2倍寸まで可変)	
22	ジェニー・ホルツァー	4つのテキスト:「暴行殺人」「走奪」「アルノ川」「青」	1993~98	LEDサイン(ブルーダイオード):*計641語の英文テキストを反復点灯	146.7×13.3	
23	前田守一	あらっ!	1968(昭和43)	ビニール・合板	90.0×90.0×10.0	
24	三島喜美代	NEWS PAPER F-87	1987(昭和62)	陶磁	130.0×98.0×98.0	
25	金子鷗亭	北原白秋詩 白金ノ独楽	1952(昭和27)	墨・紙・額	66.2×131.7	

2020.2.8(土)~4.5(日) ミュージアム・コレクション冬~春:良寛さ~ん!

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	良寛	七言絶句 髭髮剃除	不詳	墨・紙・軸	150.0×40.0	
2	石飛博光	良寛詩 千峰凍雪合	2011(平成23)	墨・紙・屏風(四曲一双)	(各面)136.0×68.0	
3	松永鶴雲	良寛 袖裏	1991(平成3)	墨・紙・軸	180.0×65.0	
4	西村舟水	良寛詩「孤鉢仙家飯 布衣一身軽」	1999(平成11)	墨・紙・軸	132.0×22.0	
5	榎原寿皓	良寛 竿直・心虚	1991(平成3)	墨・紙・対軸	各130.0×32.0	
6	佐々木宏遠	良寛 吾と筆硯と	1991(平成3)	墨・紙・軸	225.0×80.0	
7	長沼透石	良寛のうた	不詳	墨・紙	69.0×69.0	
8	明石春浦	良寛詩	1985(昭和60)	墨・紙	227.0×52.4	
9	柴田蕙山	良寛詩二首 昨日異今日	1984(昭和59)	墨・紙	150.0×40.0	
10	荒川武夫	鷗亭題字「寶字」虎溪山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	11.0×11.0×8.5	
11	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 閑さや」虎溪山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	14.5×14.5×8.5	
12	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 山路来て」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	11.0×11.0×9.0	
13	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 明月や」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	14.0×14.0×8.0	
14	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 鷹一つ」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	9.5×9.5×9.5	
15	荒川武夫	鷗亭題字「天賜清福」虎溪山唐津風茶碗	制作年不詳	陶磁	13.0×13.0×9.0	
16	金子鷗亭	抱朴含真	1984(昭和59)頃	墨・紙	19.5×88.2	

令和2年度

2020.4.25(土)~8.30(日) ミュージアム・コレクション春~夏:鷗亭と啄木

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	金子鷗亭	石川啄木歌二首 潮かをる/函館の	1981(昭和56)	墨・紙	138.0×33.0	
2	金子鷗亭	石川啄木歌 砂山の	1998(平成10)	墨・紙	50.3×136.0	
3	金子鷗亭	石川啄木歌三首 東海の/すつきりと/いのちなき	1984(昭和59)	墨・紙	136.0×112.0	
4	金子鷗亭	石川啄木歌二首 アカシアの/しんとして	1981(昭和56)	墨・紙	138.0×33.5	
5	金子鷗亭	石川啄木歌 さいはての	1981(昭和56)	墨・紙	136.0×35.0	
6	金子鷗亭	石川啄木歌三首 何となく/波もなき/高きより	1983(昭和58)	墨・紙	140.0×112.0	
7	金子鷗亭	石川啄木歌 ふるさとの	1982(昭和57)	墨・紙	134.0×34.0	
8	金子鷗亭	石川啄木歌 ふるさとの山にむかひて	1988(昭和63)	墨・紙	136.0×51.0	
9	金子鷗亭	石川啄木歌 非凡なる	1984(昭和59)	墨・紙	47.0×74.0	
10	金子鷗亭	石川啄木歌三首 それとなく/たはむれに/寄り添ひて	1982(昭和57)	墨・紙	140.0×112.0	
11	金子鷗亭	石川啄木歌 たはむれに	1997(平成9)	墨・紙	133.0×33.5	

2020.10.3(土)~2021.1.31(日) ミュージアム・コレクション秋~冬:東洋陶磁の美—鷗亭コレクションから

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1		唐三彩駱駝	唐代	陶磁	37.0×13.0×51.0	
2		白磁水注(有蓋)(定窯)	北宋	陶磁	16.5×13.5×19.0	
3		白磁鉄絵牡丹文陶枕(磁州窯)	宋代	陶磁	43.0×18.0×10.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
4		緑釉万年壺	唐代	陶磁	23.0×23.0×19.0	
5		白地黒花草文四耳壺(磁州窯)	金代	陶磁	14.5×14.5×17.5	
6		青磁四耳壺(浙江窯又は福建窯)	五代	陶磁	21.5×21.5×23.0	
7		呉須赤絵人物鹿文大皿(汕頭窯)	明代末期	陶磁	38.5×23.5×9.5	
8		白磁染付辰砂獅子水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	8.0×6.0×6.0	
9		白磁染付山水水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	8.5×8.5×3.0	
10		青磁鴨形水滴	高麗時代(14世紀)	陶磁	12.0×10.5×11.0	
11		白磁丸形水滴	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	10.5×10.5×11.0	
12		鉄絵竹文扁壺	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	15.5×6.0×18.0	
13		青磁陰刻雲鶴文茶碗	高麗時代(12世紀)	陶磁	14.5×14.5×5.0	
14		三島刷毛目茶碗	朝鮮時代	陶磁	20.0×16.0×10.5	
15		井戸茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	17.0×17.0×8.0	
16		白磁辰砂花卉文壺	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	16.0×16.0×10.5	
17	金子鷗亭	自詠 唐三彩女の俑	1984(昭和59)	墨・紙	138.0×52.0	
18	金子鷗亭	自詠 唐三彩いななく	1986(昭和61)	墨・紙	138.0×58.0	
19	金子鷗亭	自作句 アンテックの亀	1985(昭和60)	墨・紙	138.0×52.0	
20	金子鷗亭	自作句 春ロンドン	1993(平成5)	墨・紙	48.5×136.5	
21	金子鷗亭	臨書 商丘叔簠	1981～1985(昭和56～昭和60)	墨・紙	138.0×34.0	
22	金子鷗亭	臨書 好太王碑	1981～1985(昭和56～昭和60)	墨・紙	138.0×34.0	
23	金子鷗亭	臨書 黄庭経	1981～1985(昭和56～昭和60)	墨・紙	138.0×34.0	
24		青白磁香合(景德鎮窯)	宋代	陶磁	6.0×3.3	
25		祥瑞手桃形香合(景德鎮窯)	清代	陶磁	6.5×8.0	
26		五彩水滴	清代	陶磁	11.0×4.0×8.5	
27		青花龍文筆盒(景德鎮窯)	明代(16世紀末～17世紀初頭)	陶磁	31.0×12.5×9.5	
28		白磁百足円硯	唐代	陶磁	20.5×20.5×7.0	

2021.2.6(土)～4/4(日) ミュージアム・コレクション冬～春:鷗亭と白秋

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	金子鷗亭	北原白秋詩 曇り日のオホーツク海	1984(昭和59)	墨・紙	138.0×33.0	
2	金子鷗亭	北原白秋詩 曇り日のオホーツク海	1987(昭和62)	墨・紙	50.3×136.0	
3	金子鷗亭	北原白秋詩 白金ノ独楽	1952(昭和27)	墨・紙	136.0×112.0	函館市蔵(当館受託)
4	金子鷗亭	北原白秋詩 海雀	1952(昭和27)	墨・紙	138.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
5	金子鷗亭	北原白秋詩 からまつ	1991(平成3)	墨・紙	136.0×35.0	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

3. 常設展示室

田辺三重松をはじめ、蠣崎波響、岩船修三など道南ゆかりの作家の作品や、当館の収集方針のひとつである「文字と記号に関わる現代美術」などを中心に展示するほか、鷗亭記念室と共通するテーマ展示を行なった。

平成31/令和元年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春～夏： ハコビ・コレクションの ニュー・カマー	2019. 4. 18(木)～8. 25(日)	103	10, 378	平成30年度に新たに収集された作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション秋～冬： ハコビ・コレクションの現代 アート	2019. 9. 7(土)～2020. 2. 2(日)	115	6, 417	当館のコレクションから、文字や記号をモチーフとする現代美術の秀作を展示。 ※常設展示室と共通のテーマによる展示
3	ミュージアム・コレクション冬～春： 田辺三重松 水彩・素描の 世界	2020. 2. 8(土)～3. 31(水)	45	545	洋画家・田辺三重松の水彩画と素描を展示。

令和2年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション冬～春： 田辺三重松 水彩・素描の 世界	2020. 4. 1(木)～4. 5(日)	5	257	洋画家・田辺三重松の水彩画と素描を展示。
2	ミュージアム・コレクション春～夏： ハコビ・コレクションの ニュー・カマー	2020. 4. 25(土)～8. 30(日)	66	3, 375	石川啄木の短歌をモチーフにした金子鷗亭の作品を展示。
3	ミュージアム・コレクション秋～冬： 鷗亭と賢治・光太郎	2020. 10. 3(土)～2021. 1. 31(日)	97	5, 645	宮沢賢治と高村光太郎の詩を題材とした金子鷗亭の書を展示。
4	ミュージアム・コレクション冬春： アートの「キラキラ」	2021. 2. 6(土)～3. 31(水)	46	1, 305	炎、水、金属など様々な「キラキラ」をテーマに絵画、書、彫刻、工芸の作品を展示。

常設展示室出品目録

平成31/令和元年度

2019.4.18(木)～8.25(日) ミュージアム・コレクション春～夏:ハコビ・コレクションのニュー・カマー

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	孫一峰	港	不詳	水彩・紙	15.5×22.2	
2	孫一峰	雪岳山	不詳	水彩・紙	12.2×18.4	
3	孫一峰	雪景	不詳	水彩・紙	11.7×19.2	
4	孫一峰	静物	1975	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
5	田辺三重松	セメント工場(上磯)	1910～20年代前半(大正期)	水彩・紙	52.2×67.7	
6	孫一峰	壺のある静物	1975頃	油彩・キャンバス	32.0×40.5	
7	岩船修三	部落の守神(コタンクル・カムイ)の竈	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	44.2×52.0	
8	田澤茂	魑魅魍魎	2003(平成15)	水彩・麻紙	143.0×201.0	
9	田澤茂	北の祈り2	2011(平成23)	油彩・キャンバス	159.0×244.7	
10	田澤茂	竜と羅漢	2012(平成24)	油彩・キャンバス	194.7×161.0	
11	高森明	橋のある風景	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	180.0×226.0	
12	高森明	裸婦横臥	2000(平成12)	油彩・キャンバス	181.8×226.7	
13	岡沼淳一	Mountain Stream	2018(平成30)	木(=レ埋もれ木)	400.0×40.0×132.0	

2019.9.7(土)～2020.2.2(日) ミュージアム・コレクション秋～冬:ハコビ・コレクションの現代アート

* 鷗亭記念室目録(p.5)参照

2020.2.8(土)～4.5(日) ミュージアム・コレクション冬～春:田辺三重松 水彩・素描の世界

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	田辺三重松	[教会のある風景]	不詳	鉛筆・紙	24.0×33.5	
2	田辺三重松	[元町街景]	不詳	鉛筆・紙	23.9×33.4	
3	田辺三重松	[駒ヶ岳登山]	不詳	鉛筆、水彩・紙	18.0×25.5	
4	田辺三重松	[じゅんさい沼]	不詳	鉛筆・紙	18.0×25.5	
5	田辺三重松	[夏の駒ヶ岳]	1948(昭和23)頃	鉛筆・紙	18.0×25.5	
6	田辺三重松	[駒ヶ岳山麓の村]	1918(大正7)	水彩・紙	25.3×34.0	
7	田辺三重松	[大沼と駒ヶ岳]	不詳	水彩・紙	28.7×38.7	
8	田辺三重松	[春の五稜郭]	不詳	鉛筆、水彩・紙	19.2×27.2	
9	田辺三重松	[元町風景]	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.0×33.5	
10	田辺三重松	[立待岬にて]	1919(大正8)	水彩・紙	34.1×54.0	
11	田辺三重松	[セメント工場(上磯)]	1910～20年代(大正期)	水彩・紙	52.2×67.6	
12	田辺三重松	[室蘭]	不詳	水彩・紙	25.8×34.3	
13	田辺三重松	[有珠岳]	1939(昭和14)頃	鉛筆・紙	26.5×19.3	
14	田辺三重松	有珠岳	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	函館市蔵(当館寄託)
15	田辺三重松	[羊蹄山]	不詳	水彩・紙	26.5×19.3	
16	田辺三重松	[夏の洞爺湖畔]	1956(昭和31)頃	鉛筆・紙	25.8×34.3	
17	田辺三重松	[洞爺湖畔]	不詳	鉛筆・紙	25.8×34.3	
18	田辺三重松	[桃内]	不詳	鉛筆・紙	26.5×19.3	
19	田辺三重松	[照りかげの山容]	1956(昭和31)頃	鉛筆・紙	25.8×34.3	
20	田辺三重松	[札幌時計台]	不詳	鉛筆・紙	17.6×25.5	
21	田辺三重松	[大学構内]	不詳	鉛筆・紙	17.6×25.5	
22	田辺三重松	[利尻富士]	不詳	鉛筆・紙	27.8×35.7	
23	田辺三重松	[北千島野営]	1943(昭和18)	鉛筆、水彩・紙	24.2×34.7	個人蔵
24	田辺三重松	[摩周湖]	不詳	水彩・紙	21.7×28.8	
25	田辺三重松	[摩周写生]	不詳	鉛筆・紙	21.7×28.8	
26	田辺三重松	[阿寒湖岸]	不詳	鉛筆・紙	21.7×28.8	
27	田辺三重松	ブライトホーン氷河	1963(昭和38)	コンテ・紙	27.0×37.1	
28	田辺三重松	ブライトホーン氷河	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	90.9×116.8	函館市蔵(当館寄託)
29	田辺三重松	[ヨットハーバー サンフランシスコ郊外ソーサ・リート]	1963(昭和38)	水彩、コンテ・紙	28.8×38.0	個人蔵
30	田辺三重松	[彩色風景]	不詳	水彩、コンテ・紙	29.4×35.4	
31	田辺三重松	[華厳の滝]	不詳	鉛筆・紙	34.6×28.1	
32	田辺三重松	[洞雲山]	不詳	鉛筆・紙	24.5×34.6	
33	田辺三重松	[風景(海の見える)]	不詳	鉛筆、水彩・紙	29.9×37.8	
34	田辺三重松	[桜島 日の出]	不詳	鉛筆・紙	31.6×40.6	
35	田辺三重松	[八ヶ岳]	不詳	鉛筆、水彩・紙	21.8×36.3	
36	田辺三重松	[浅草]	不詳	鉛筆・紙	25.4×33.8	
37	田辺三重松	[葛沼]	不詳	鉛筆、水彩・紙	25.4×33.8	
38	田辺三重松	[弘前城]	不詳	鉛筆・紙	31.8×23.3	
39	田辺三重松	[女性像]	不詳	鉛筆・紙	30.4×21.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
40	田辺三重松	[船室]	不詳	鉛筆・水彩・紙	21.6×36.3	
41	田辺三重松	[人物スケッチ]	不詳	鉛筆・紙	30.4×21.5	
42	田辺三重松	[バラ]	不詳	鉛筆・紙	26.5×23.2	
43	田辺三重松	[魚]	不詳	鉛筆・水彩・紙	18.0×25.5	
44	田辺三重松	[キツツキ]	不詳	鉛筆・紙	18.0×25.5	
45	田辺三重松	[馬]	不詳	鉛筆・紙	18.0×25.5	

令和2年度

2020. 4. 25(土)～8. 30(日) ミュージアム・コレクション春～夏:ハコビ・コレクションのニュー・カマー

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵・展示替え
1	岩船修三	壺と果物	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	45.0×53.0	
2	田辺三重松	洞爺湖晩秋	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	72.8×91.0	
3	田辺三重松	フィヨルドの船着場	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
4	伊藤郁子	花	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	145.5×97.0	
5	伊藤郁子	赤いテーブル	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
6	池谷寅一	庭の春	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	145.0×111.0	
7	池谷寅一	恵山岬の御先	不詳	油彩・キャンバス	136.0×51.0	
8	池谷寅一	恵山岬	不詳	パステル・紙	29.5×39.5	
9	池谷寅一	駒ヶ岳の秋	不詳	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
10	蠣崎波響	草花鳥獣人物図屏風	1813(文化10)	紙本彩色・屏風(六曲一双)	各174.5×355.0	4/25(土)～6/14(日)展示
11	松本暎子	とりなくこゑす	不詳	墨・紙・屏風(六曲一隻)	137.0×364.5	7/4(日)～8/2(日)展示
12	不詳	架鷹図屏風	江戸末期	紙本彩色・屏風(六曲一双)	各176.5×360.0	8/4(火)～8/30(日)展示
13	長谷川晶	西浜	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	63.5×88.5	
14	長谷川晶	昭和新山	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	36.0×44.0	
15	長谷川晶	Work-2	1974(昭和49)	シルクスクリーン・紙	32.8×47.7	
16	田辺三重松	駅頭	不詳	水彩・鉛筆・紙	21.2×31.7	4/25(土)～6/14(日)展示
17	田辺三重松	山	不詳	コンテ・紙	19.0×25.9	4/25(土)～6/14(日)展示
18	田辺三重松	果物A	不詳	水彩・紙(色紙)	26.5×23.3	4/25(土)～6/14(日)展示
19	田辺三重松	ばら	不詳	水彩・紙(色紙)	26.5×23.2	4/25(土)～6/14(日)展示
20	田辺三重松	北千島野営	1943(昭和18)	水彩・鉛筆・紙	24.2×34.7	7/4(日)～8/2(日)展示
21	田辺三重松	ヨットハーバー サンフランシスコ郊外 ソーサ・リゾート	1963(昭和38)	水彩・コンテ・紙	28.8×37.0	7/4(日)～8/2(日)展示
22	田辺三重松	函館港	不詳	鉛筆・紙	29.2×37.0	7/4(日)～8/2(日)展示
23	田辺三重松	世田谷	不詳	鉛筆・紙	18.6×35.0	7/4(日)～8/2(日)展示
24	田辺三重松	ざくろA	不詳	水彩・鉛筆・紙	21.0×30.4	8/4(火)～8/30(日)展示
25	田辺三重松	ざくろB	不詳	水彩・鉛筆・紙	16.9×23.5	8/4(火)～8/30(日)展示
26	田辺三重松	果物B	不詳	水彩・紙(色紙)	27.2×24.1	8/4(火)～8/30(日)展示
27	田辺三重松	魚二匹	不詳	水彩・紙(色紙)	24.0×27.0	8/4(火)～8/30(日)展示
鷗亭記念室・展示ケース内						
28	蠣崎波響	京洛十二月図画卷	1819(文政2)	紙本淡彩・画卷	26.3×1011.0	

2020. 10. 3(土)～2021. 1. 31(日) ミュージアム・コレクション春～夏:鷗亭と賢治・光太郎

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	金子鷗亭	宮沢賢治詩 作品第七十五番之一 浮世絵 北上山地の春(囲炉裏)	1964(昭和39)年	墨・紙	107.5×77.0	
2	金子鷗亭	宮沢賢治詩 作品第一〇五四 何と云はれても	1979(昭和54)年	墨・紙	56.5×143.5	
3	金子鷗亭	宮沢賢治詩 くらかけ山の雪	1984(昭和54)年	墨・紙	138.0×140.0	
4	金子鷗亭	宮沢賢治詩 雨ニモマケズ	1987(昭和62)年	墨・紙	各151.0×249.0	
5	金子鷗亭	高村光太郎詩 月にぬれた手	1957(昭和32)年	墨・紙	37.5×73.0	
6	金子鷗亭	高村光太郎詩 芋銭先生景慕詩	1963(昭和38)年	墨・紙	137.0×140.0	
7	金子鷗亭	高村光太郎詩 首の座	1968(昭和43)年	墨・紙	69.5×166.0	
8	金子鷗亭	高村光太郎詩 金秤	1972(昭和47)年	墨・紙	89.0×126.0	
9	金子鷗亭	高村光太郎詩 鯨	1972(昭和47)年	墨・紙	138.0×141.0	
10	金子鷗亭	高村光太郎詩 葱	1977(昭和52)年	墨・紙	90.0×150.0	

2021. 2. 6(土)～3. 31(水) ミュージアム・コレクション春～夏:アートの「キラキラ」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	鎌田俳捺子	煌めき(釧路川)	2001(平成13)	油彩・キャンバス	194.7×130.7	
2	金 昌烈	水滴	1986	油彩・キャンバス	12.5×97.0	
3	長内さゆみ	睡蓮一雲一	2007(平成19)	油彩・キャンバス	162.1×162.1	
4	蓮田脩五郎	聖なるみまえ	1980(昭和55)	白銅・樹脂版	90.0×140.0	
5	作者不詳	方豫口印	不詳	銅	1.6×1.6×2.1	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
6	作者不詳	衛騎將軍	不詳	銅、鍍金(メッキ)	2.0×2.0×2.1	
7	圓鏢勝三	春の唄	1983(昭和58)	ブロンズ	30.0×15.0×60.0	
8	ヴァンリー・イヴァノ ヴィチ・スーリコフ	女子修道院を訪れる皇女	1912	油彩・キャンバス	92.0×132.5	
9	金子鷗亭	川端文学燦文集「イタリアの歌」より 生命が…	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館寄託)
10	平方亮三	作品 79-E	1970(昭和45)	木版・紙	50.0×39.0	
11	平方亮三	生 78-A	1978(昭和53)	木版・紙	50.0×40.0	
鷗亭記念室・展示ケース内						
12	作者不詳	神護寺経断簡(紺地金字一切経)	12世紀	墨・紙	24.0×55.0	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

特別展

平成31/令和元-2年度特別展一覧

平成31/令和元年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
生誕110年 岩船修三展／水辺のものがたり	2019. 4. 1(火)～4. 7(日)	6	641	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
アートギャラリー北海道 世界の名作絵本原画が やってきた！ 剣淵町絵本の館コレク ション	2019. 4. 18(木)～6. 9(日)	47	4,468	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
ミュシャ展 運命の女たち	2019. 6. 29(土)～8. 25(日)	50	14,061	主催:北海道立函館美術館、北海道新聞社、「ミュシャ展」函館展実行委員会 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力:MBS
タグチ・アートコレクション 球体のパレット	2019. 9. 7(土)～11. 10(日)	57	5,114	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力:㈱タグチ・プロジェクト、アート・オフィス・シオバラ
川端康成生誕120年記念 金子鷗亭「川端文学燦文 集」	2019. 11. 22(金)～2020. 2. 2(日)	58	1,819	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
没後30年 橋本三郎展 生誕100年 鶴川五郎展	2020. 2. 8(土)～3. 31(火)	18	560	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

令和2年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
没後30年 橋本三郎展 生誕100年 鶴川五郎展	2020. 4. 1(水)～4. 5(日)	5	271	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
愛するひと やなせたかしの世界	2020. 4. 25(土)～6. 14(日)	10	2,878	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団、やなせスタジオ、フレーベル館、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
《道産子追憶之巻》と日本 画の名品 道立近代美術館 コレクション選 道産子日本画家のニューフェ イス 葛西由香の世界	2020. 7. 4(土)～8. 30(日)	50	2,671	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力:北海道立近代美術館
リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅	2020. 10. 3(土)～11. 29(日)	51	12,513	主催:北海道立函館美術館、北海道新聞社、「ミュシャ展」函館展実行委員会 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいゝるか 協力:フィンエアー、フィンエアーカーゴ、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画:アートインプレッション、松屋 企画協力:トンカチ

色もよう心もよう	2020. 12. 5(土)～2021. 1. 31(日)	44	1, 436	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
海と山との対話	2021. 2. 6(土)～3. 31(水)	46	1, 525	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

世界の名作絵本原画がやってきた！ 剣淵町絵本の館コレクション

会期：2019年4月18日(木)～6月9日(日) 47日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
 特別協力：剣淵町絵本の館、けんぶち絵本の里を創ろう会

観覧者数：4,468名
 観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円

「剣淵町絵本の館」が所蔵する約1,000点の世界の絵本原画から約200点を展示。出品作品は、油彩画から切り絵、版画などバラエティに富んだ技法が用いられたもので、絵本と合わせて鑑賞することで、普段は絵本から遠ざかっている大人の方も楽しむ機会となった。

本展は、道内のミュージアムが所蔵するすぐれたコレクションを紹介する「アートギャラリー北海道」の一環として開催した。道北の農業の町が集めた世界の珠玉の絵本原画コレクションをこの機会に観覧する機会とした。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：5月11日(土) 14:00～ 聴講者数：31名
 6月1日(土) 14:00～ 聴講者数：31名
 6月8日(土) 14:00～ 聴講者数：62名
 講師：当館学芸員
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

絵本のよみきかせ

日時：4月28日(土) 11:00～(約30分)
 講師：函館絵本の会 銀のふね
 会場：当館特別展示室(要観覧券) 参加者数：86名

ハコビ×中央図書館 絵本原画展2館ツアー

日時：5月12日(日) 10:00～11:30
 講師：よみきかせ＝函館絵本の会 銀のふね
 ギャラリー・トーク＝堀川真氏(絵本作家、名寄市立大学准教授)
 会場：当館特別展示室(要観覧券)、函館市中央図書館 参加者数：8名

波響ぐるっと4館ツアー

日時：4月6日(土) 9:15～16:00 参加者：24名
 4月7日(日) 9:15～16:00 参加者：27名
 講師：
 会場：当館講堂、市立函館博物館、高龍寺、旧相馬邸

ハコビ・マジカル・ワークショップ「トートバッグにプリントしよう！」

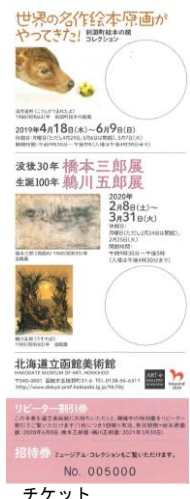
日時：
 講師：平方亮三氏(版画家)、当館学芸員
 会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数：12名(募集制)
 5月25日(土) 13:30～(約2時間半)

美術映画会

日時：4月20日(土) 14:00～ 聴講者数：27名
 「世界美術館紀行① ロダン美術館、マルモッタン美術館、ギュスターヴ・モ



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



展示風景

ロー美術館」(約50分)

日時: 5月18日(土) 14:00～ 聴講者数: 30名

「世界美術館紀行② ゴッホ美術館、アムステルダム美術館、マウリッツハイス美術館」(約50分)

会場: 当館講堂(入場無料)

「ミュシャ展 運命の女たち」プレ・イベント 絵本アニメーション上映会

日時: 5月3日(金)、5月4日(土)、5月5日(日) 各日14:00～ 参加者数: 77名

ヘルミーナ・ティールロヴァー監督「ありのフェルダのおはなし」

(1977年、人形アニメーション、17分、チェコ)

アンドリュー・ガフ監督「エリック・カールコレクション はらぺこあおむし」

(1996年、アニメーション、33分、イギリス)

会場: 当館講堂(入場無料)

協力: チェコ・センター(「ありのフェルダのおはなし」)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
アメリカ大陸						
1	バーバラ・ストーン	白くまといっしょに	1994	色鉛筆・紙	49.0×33.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
2	ジェームズ・ステイブ ンソン	おじいちゃんの家	1987	水彩、ペン・紙	28.0×22.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
3	ジェームズ・ステイブ ンソン	おばあちゃんとわたし	1986	水彩、ペン・紙	39.8×30.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
4	エリザベス・クリーバー	カリブーになったティーヤ	1985	写真・印画紙	31.0×42.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
5	シャン・カートライト	アラスカのマザーグース	1987	水彩・紙	22.0×28.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
6	フェリッペ・エーレンベ ルク	黒曜石の鏡	1982	水彩・紙	45.0×33.9	けんぶち絵本の里を創ろう会
7-1	アニータ・ローベル	ABCのおかいもの:Yarn	1985	セル画(印刷・フィルム +彩色・紙)	18.8×15.2	けんぶち絵本の里を創ろう会
7-2	アニータ・ローベル	ABCのおかいもの:Yarn	1985	ペン・紙	22.0×17.7	けんぶち絵本の里を創ろう会
7-3	アニータ・ローベル	ABCのおかいもの:Z	1985	セル画(印刷・フィルム +彩色・紙)	19.1×16.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
7-4	アニータ・ローベル	ABCのおかいもの:Z	1985	ペン・紙	22.3×19.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
ヨーロッパ						
8	エリック・カール	小品(にわとり)	不詳	水彩、コラージュ	23.3×18.9	けんぶち絵本の里を創ろう会
9	エリック・カール	小品(かたつむり)	不詳	水彩、コラージュ	13.4×19.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
10	ブライアン・ワイルドスミ ス	きつつき	不詳	水彩・紙	22.7×16.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
11	ケルスティ・シャブレ	夜になると	1985	オイルパステル・紙	20.0×37.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
12	イワン・ガンチェフ	あしたはわたしのたんじょうび	1977	水彩・紙	22.7×56	けんぶち絵本の里を創ろう会
13	イワン・ガンチェフ	くまのもっくはおなががべこべこ	1984	水彩・紙	27.5×44.5	けんぶち絵本の里を創ろう会
14	トーベ・ヤンソン	踊るくま(小品)	不詳	水彩・紙	21.5×16.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
15	リスベス・ツヴェルガー	おやゆびひめ(習作)	1980	水彩、ペン・紙	24.0×16.5	けんぶち絵本の里を創ろう会
16	エロール・ル・カイン	ハイワサの小さかったころ	1984	水彩・紙	38.0×56.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
17	エロール・ル・カイン	アラジンと魔法のランプ	1981	水彩・紙	49.0×37.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
18	ファーガス・ホール	グランドセル	1982	水彩またはアクリル・紙	55.4×42.4	けんぶち絵本の里を創ろう会
19	エッダ・ラインル	ふくろうとことり	1981	ろうけつ染め・紙	22.2×23.7	けんぶち絵本の里を創ろう会
20	エッダ・ラインル	氷の花	1978	水彩・紙	24.5×49.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
21	ボツリカ・キチエパッ ツ	ゆうかんなひつじかい	1996	リノカット・紙	29.8×41.4	けんぶち絵本の里を創ろう会
ロシア・中央アジア						
22	ハセン・S.アパーエフ	美しいお姫さまとかしい大臣	不詳	クレパス、水彩・ボード	36.0×48.0	剣淵町絵本の館
23	スタニスラフ・ロマーノ ヴィチ・カバリョーフ	おばけのパパヤガー	1977	水彩・紙	25.2×40.0	剣淵町絵本の館
日本						
24-1~3	小林研三	のはらのちいさないえ	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	22.6×24.6	けんぶち絵本の里を創ろう会
24-4	小林研三	のはらのちいさないえ イメージ「春」		水彩・紙	20.7×24.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
24-5	小林研三	のはらのちいさないえ イメージ「丘の小さい池」	1981(昭和56)	水彩・紙	20.7×24.3	けんぶち絵本の里を創ろう会
24-6	小林研三	のはらのちいさないえ イメージ「さる」	不詳	銅版・紙	9.6×6.7	けんぶち絵本の里を創ろう会
24-7	小林研三	のはらのちいさないえ イメージ「ねこ」	1978(昭和53)	銅版・紙	6.7×9.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
25	田島征三	ジャックと豆のつる	1991	泥絵具、水彩・紙	35.8×69	剣淵町絵本の館
26	田島征三	ジャックと豆のつる	不詳	水彩・紙		剣淵町絵本の館
27	瀬川康男	ふたり	1981(昭和56)	版画・紙	14.6×22.2	けんぶち絵本の里を創ろう会
28	加古里子	だるまちゃんとてんぐちゃんのクリスマス(小品)	1984(昭和59)	水彩、ペン・紙	17.0×25.0	けんぶち絵本の里を創ろう会
29	瀬名恵子	小品	不詳	コラージュ・紙	10.7×14.7	けんぶち絵本の里を創ろう会
30	長新太	小品	不詳	グワッシュ、アクリル・紙	12.2×17.3	けんぶち絵本の里を創ろう会
31	馬場のぼる	小品	不詳	水彩、ペン・紙	12.1×16.9	けんぶち絵本の里を創ろう会
北海道						
32	手島圭三郎	しまふくろうのみずうみNo.17	不詳	木版・紙	40.8×56.8	けんぶち絵本の里を創ろう会
33	手島圭三郎	カムイチカブ	不詳	木版・紙	40.6×47.6	けんぶち絵本の里を創ろう会
34	手島圭三郎	チビヤクカムイ	不詳	木版・紙	34.2×57	けんぶち絵本の里を創ろう会
35	手島圭三郎	ふゆのうま	不詳	木版・紙	54.7×76	けんぶち絵本の里を創ろう会
36	手島圭三郎	おおはくちょうのそら	不詳	木版・紙	40.6×56.7	けんぶち絵本の里を創ろう会
37	佐藤正人	ムーニヤとほしのたね	2001(平成13)	水彩・紙	20.6×30.4	けんぶち絵本の里を創ろう会
38	海月清則	こうしがうまれたよ	1988(昭和63)	油彩	40.0×52.0	目黒区美術館
39	堀川真	あかいじどうしゃよんまるさん	2007(平成19)	水彩・紙	22.1×61.4	堀川真氏
40	小林 豊	はるふぶき	1999(平成11)	グワッシュ・紙	21.8×49.7	剣淵町絵本の館

ミュシャ展 運命の女たち

会期：2019年6月29日(土)～8月25日(日) 50日間
 主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、「ミュシャ展」函館展
 実行委員会
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
 企画協力：MBS

観覧者数：14,061名
 観覧料：一般1,200(1000)円、高大生700(500)円、中学生400(300)円
 小学生以下無料(要保護者同伴)
 巡回：北海道立旭川美術館ほか。

アルフォンス・ミュシャ(Alfons Mucha 1860-1939)は、19世紀から20世紀初頭にヨーロッパで起こった芸術運動アール・ヌーヴォーの旗手のひとりである。

本展では、ミュシャの故郷イヴァンチツェ近郊在住の医師チマル博士が所蔵の同家三代にわたるコレクションより、リトグラフのポスター、装飾パネル、さらには水彩画、素描画など、約150点を展示した。当館にとって二度目のミュシャの展覧会となる本展では、日本でこれまで公開されていなかったこのコレクションを通して、初恋に始まり、サラ・ベルナルとの出会いや人生を彩った女性たちに焦点をあててミュシャの画業を紹介した。

【関連事業】

■プレイベント

スタンプラリー ミュシャ・テーリング

日時：6月15日(土)～(スタンプカードがなくなり次第終了)
 会場：函館市中央図書館、箱館奉行所、函館市芸術ホール・北洋資料館、五稜郭タワー、当館(参加無料) 参加者数：294名

七夕まつり×ミュシャ展～星にねがいを☆～ 短冊づくりと笹飾り

日時：6月15日(土)～7月7日(日) 毎日9:30～16:30
 七夕まつり
 日時：7月7日(日) 9:30～16:30(小学生以下対象)
 会場：当館ホール(参加無料) 参加者数：418名

■会期中イベント

ギャラリー・ツアー

日時：6月29日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：52名
 7月6日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：63名
 8月17日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：63名
 講師：当館学芸員
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

ギャラリー・コンサート「ミュシャに寄せて」

日時：7月14日(日) 11:30～/14:00～(各回約40分)
 出演：長内一真(ピアノ)
 会場：当館特別展示室(要観覧券) 聴講者数：152名

合唱コンサート

日時：6月30日(日) 14:30～(約30分) 聴講者数：28名
 出演：女声コーラストラル
 日時：7月28日(日) 13:30～(約90分) 聴講者数：72名
 出演：遺愛女子中学高等学校音楽部、函館MB混声合唱団
 会場：当館ホール(入場無料)



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



会場風景

カフェ&トーク「ミュシャ展でクロワッサンを」

日時: 8月11日(日) 9:30～(約90分)

講師: 澤田基氏(「ちいさなしあわせパン☆」店主)、柳沢弥生(当館主任学芸員)

会場: 当館特別展示室、カフェ 参加者数: 21名(募集制)

協力: ちいさなしあわせパン☆

港まつりハコビ縁日「キラキラ☆ヒカリモノすくいをしよう！」

期間: 8月1日(木)～8月4日(日) 9:30～16:30

会場: 当館エントランス(参加無料) 参加者数: 377名

ミュージアム・シアター「チェコパペットの世界」

日時: 7月7日(日) 11:00～/14:00 参加者数: 24名

ラデク・ペラン監督「リトル・マン」2015年、約84分

会場: 当館講堂(入場無料)

協力: チェコセンター

美術映画会

日時: 7月13日(土) 14:00～ 聴講者数: 35名

「世界美術館紀行⑤ カタルーニャ美術館、ミロ財団美術館、カルースト・グルベンキアン美術館」(約50分)

日時: 8月10日(土) 14:00～ 聴講者数: 23名

「世界美術館紀行⑥ ホイトニー美術館、フリック・コレクション、バーンズ財団美術館」(約50分)

会場: 当館講堂(入場無料)

出品目録

作品はいずれもチマル・コレクション。

	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
chapter1 幼少期 芸術のはじまり				
1	デザイン画「J(ユリカ、ミュシャの初恋の人)」	1874	鉛筆、水彩	11×5
2	素描集「学生時代のノート」	1876-77	インク、青色インク、鉛筆	13×8
参考1	素描集「学生時代のノート」の内部の複製		インク、青色インク、鉛筆	45×35
3	素描「農民風のブラウスを着た少女」	1878	木炭	46×35
4	写真「ミュシャの家族(後列左から:異母兄アウグスト、父オンドジェイ、ミュシャ、妹アンナ、妹アンゲリカ、母アマリエ、異母姉アントニエ)」	1880	写真	32×24
5	素描「士官の肖像」	1880	鉛筆、墨、白色ハイライト	61×46
6	素描「テレザ・トラブル」	1882	墨、グワッシュ	10×10
7	素描「テレザ・トラブル」	1883	木炭、白色ハイライト	41×36
8	水彩画「水の精たち」	1882	水彩、グワッシュ、白色ハイライト	32×18
9	素描「夜」	1885	墨、水彩で淡彩	28×17
10	素描「天使のいるフレスコ天井画のための下絵」	1887	墨、水彩で淡彩	42×60
11	素描「エマホフ城主への礼賛画」	1887	墨、クレヨン、グワッシュ、水彩	16×81
12	素描「《エマホフ城主への礼賛画》のための習作」	1887	鉛筆	33×19
13	写真「ミュシャのアパートの窓からの眺め(ミュンヘン)」	1886	写真	24×30
chapter2 パリ 人生の絶頂期				
14	ビエール・ベロール著『ファランドール』の表紙絵	1890	リトグラフ	32×23×3
15	ユディット・ゴティエ著『白い象の伝説』の装丁、挿絵	1894	活版(凸版)印刷、金箔押し	32×23×3
16	H・ドゥ・プリセー著『ローランの冒険』の装丁、挿絵	1896	活版(凸版)印刷	29×22×4
17	ノエル・ゴルアー著『グラン・フェレ』の挿絵	1896	活版(凸版)印刷	23×17×4
18	ロベール・ドゥ・フレール著『トリボリの姫君イルゼ』の装丁、挿絵	1897	活版(凸版)印刷	30×25×3
19	『1900年パリ万国博覧会オーストリア部門公式ガイドブック』の装丁	1900	リトグラフ、金箔押し	21×12×2
20	『アルバム・ルフェーヴル=ウティール第1巻現代の有名人』の表紙メダル象嵌画	1904	金箔押し(プラスチック)	33×26×3
21	カレンダー「パリの審判」	1895	リトグラフ	67×50
22	カレンダー「四季:春、夏、秋、冬(ショコラ・マッソン社)」	1896	リトグラフ	各43×15
23	カレンダー「ビスケット・ルフェーヴル=ウティール」	1896	リトグラフ	61×45
24	カレンダー「ビザンティン風の頭部:ブルネット」	1897	リトグラフ	58×43
25	カレンダー「ビザンティン風の頭部:ブロンド」	1897	リトグラフ	58×44
26	装飾皿「ビザンティン風の頭部:ブルネット」	1898	金属板にカラー・リトグラフによるエナメル塗装	41×41
27	装飾皿「ビザンティン風の頭部:ブロンド」	1898	金属板にカラー・リトグラフによるエナメル塗装	41×41
28	装飾皿「秋」	1897	磁器に印刷	31×31
29	カレンダー「人の一生:幼少期、青年期、熟年期、老年期」	1899	リトグラフ	各30×22
30	雑誌社パリ=フランスのための有価証券	1898	リトグラフ	34×24
31	楽譜「マーキゼット・ガヴォット」の挿絵	1896	活版(凸版)印刷	30×46
32	楽譜「無情」の挿絵	1896	リトグラフ	36×28
33	ルフェーヴル=ウティール社ヴァニラ風味のゴーフルの箱のラベル	1896	リトグラフ	21×18
34	版画「自画像」	1896	リトグラフ	21×15
35	写真「自画像(パリ)」	1898	写真	32×24
36	1878年および1889年の万国博覧会審査委員の会合の式次第	1897	リトグラフ	23×33
37	ポスター「ウェイヴァリー自転車」	1898	リトグラフ	21×28
38	ポスター「ムーズ・ビール」	1899	リトグラフ	40×28
39	モエ・エ・シャンドン社のメニュー表	1899	リトグラフ	22×15
40	A・ド・ロシヤ著『感情、音楽、身振り』の装丁	1900	リトグラフ	26×44
41	ポール・ルーエ著『装飾美術辞典』の挿絵	1902	リトグラフ	26×18
42	アルフォンス・ミュシャ著『装飾人物集』の挿絵(第16図)	1905	凸版印刷	46×33
43	挿絵原画「勇敢な音楽家(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	グワッシュ、白色ハイライト	28×20
44	挿絵原画「魔法の髪(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	グワッシュ、白色ハイライト	28×20
45	挿絵原画「蚊のお話(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	水彩、グワッシュ、墨、白色ハイライト	36.5×25
46	挿絵原画「蚊のお話(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	水彩、グワッシュ、白色ハイライト	28×21
47	挿絵原画「ジャック(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	パステル、グワッシュ、水彩、白色ハイライト	38×26
48	挿絵原画「魔法の馬(クサヴィエ・マルミエ著『おばあさんのお話』)」	1892	グワッシュ、白色ハイライト	44×31
49	挿絵原画「奇術師」	1892	グワッシュ、白色ハイライト	28×22
50	挿絵原画「プラハ大学を創立するカール四世(シャルル・セニョボス著『ドイツ史の諸場面とエピソード』)」	1896	水彩、グワッシュ、白色ハイライト	50×36
51	挿絵原画「ブラチスラヴァのマリア・テレジア(シャルル・セニョボス著『ドイツ史の諸場面とエピソード』)」	1896	グワッシュ、水彩、白色ハイライト	42×31
52	水彩画「レアンドロスの死」	1893	水彩	15×23
53	素描「メニュー表のための習作」	1897	鉛筆	36×26
54	素描「座る少女の習作」	1897	鉛筆	23×20
55	素描「パンを食べる少年」	1898	鉛筆、白色ハイライト	27×25
56	素描「手」	1898	鉛筆、白色ハイライト	44×32
57	素描「マクベス夫人に扮するサラ・ベルナール」	1899	鉛筆	23×15
58	素描「少女と鳩」	1899	鉛筆、白色ハイライト	60×30

作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	
59	素描「老年」	1900	鉛筆	36×26
60	素描「蠟燭の下での読書」	1903	鉛筆、白色ハイライト	29×20
61	連作装飾パネル「花(ホーム=デコ社)」	1894	リトグラフ(紙)	120×80
62	連作装飾パネル「果物(ホーム=デコ社)」	1894	リトグラフ(カンヴァス)	330×262
63	連作装飾パネル「狩り(ホーム=デコ社)」	1894	リトグラフ(紙、カンヴァスで裏貼り)	120×80
64	連作装飾パネル「魚狩り(ホーム=デコ社)」	1894	リトグラフ(カンヴァス)	120×80
65	連作装飾パネル「芸術:詩」	1898	リトグラフ	60×38
66	連作装飾パネル「四つの花:アイリス、バラ、ユリ、カーネーション」	1898	リトグラフ	各20×8
67	連作装飾パネル「一日:朝の目覚め、昼の輝き、夕べの夢想、夜の安らぎ」	1899	リトグラフ	各108×39
68	連作装飾パネル「四季:春、夏、秋、冬」	1900	リトグラフ(繻子の上に刷られた豪華版)	各73×32
69	ジョルジュ・ドゥ・パイルブリュン著『赤い鳥』(雑誌『大衆生活30号』所収)の挿絵	1890	活版(凸版)印刷	31×23
70	「モラヴィアのクリスマス」(雑誌『ピトレスク 1891年12月15日号』所収)の挿絵「モラヴィアン・スロヴァキアにおけるスロヴァキア人たちの合唱隊」	1891	木版(凸版)印刷	30×18
71	雑誌『ル・モンド・モデルヌ 1897年5月号』の表紙「読書する女性、ベルト・ド・ラランドの肖像」	1897	木版(凸版)印刷	25×18
72	写真「ミュシャのアトリエ(パリ)のベルト・ド・ラランド」	1898	写真	32×24
73	雑誌『近代版画(レスタンプ・モデルヌ)』の版画「サランボー」	1897	リトグラフ	41×32
74	雑誌『近代版画(レスタンプ・モデルヌ)』の版画「サロメ」	1897	リトグラフ	41×32
75	『愚者』(雑誌『フィガロ・イリュストレ』所収)の別丁中扉	1897	リトグラフ	42×32
76	雑誌『ボルドー生活』(No.1736)の表紙	1925	活版(凸版)印刷	31×42
77	写真「ゴーギャン、ミュシャ、マロルド、アンナ(パリ)」	1895	写真	24×32
78	写真「装飾パネルのモデル(パリ)」	1899	写真	32×24
79	写真「月桂樹の葉を持つモデル(パリ)」	1899	写真	32×24
80	写真「ヴァル・ド・グラース通りのアトリエのミュシャ(パリ)」	1899	写真	32×24
81	写真「《装飾パネル「エメラルド」》のためのモデル(パリ)」	1900	写真	32×24
82	連作ポストカード「12か月」	1900	リトグラフ	各9×14
83	ポストカード	1900頃	リトグラフ	各9×14
84	ポストカード	1900頃	リトグラフ	各9×14
85	ポストカード	1900頃	リトグラフ	各9×14
86	ポストカード	1900頃	リトグラフ	各9×14
87	ポストカード「遠い国の姫君に扮するサラ・ベルナル(ルフェーヴル=ウティール社)」	1904	リトグラフ	14×9
参考2	〔作者不詳〕フェドーラに扮するサラ・ベルナル(パリ)の写真	1882	写真	30×24
参考3	〔作者不詳〕ジスモンダに扮するサラ・ベルナルの写真	1894	写真	30×24
88	雑誌『舞台衣装』の挿絵「クレオパトラに扮するサラ・ベルナルとケフレンに扮するダルモン」	1890	リトグラフ	22×30
89	雑誌『舞台衣装』の挿絵「クレオパトラに扮するサラ・ベルナルとヌビアの踊り子」	1890	リトグラフ	30×22
90	ポスター「ジスモンダ」	1894	リトグラフ	216×75
91	ポスター「椿姫」	1896	リトグラフ	208×77
92	ポスター「ロレンザッチオ」	1896	リトグラフ	208×77
93	ポスター「サマリアの女」	1897	リトグラフ	173×58
94	ポスター「メディア」	1898	リトグラフ	206×76
95	ポスター「悲劇の物語デンマーク王子ハムレット」	1899	リトグラフ	205×76
96	ポスター「遠い国の姫君」	1900	リトグラフ	29×20
97	ポスター「ジョブ」	1896	リトグラフ	55×42
98	ポスター「サロン・デ・サン第20回展」	1896	リトグラフ	61×44
99	ポスター「サロン・デ・サン:A.ミュシャ展」	1897	リトグラフ	67×46
100	ポスター「黄道十二宮」	1896	リトグラフ	50×40
101	ポスター「インカの酒」	1897	リトグラフ	14×36
102	装飾パネル「三つの季節」	1898	リトグラフ	64×44
103	ポスター「ジュレ・フレールの香水:シルヴァニス・エッセンス」	1899	リトグラフ	64×25
chapter3 アメリカ 新たなる道の発見				
104	雑誌『ザ・バー・マッキントッシュ・マンズリー』の表紙	1907	リトグラフ	32×19
105	雑誌『ザ・リテラリー・ダイジェスト』の表紙	1908	リトグラフ	30×22
106	雑誌『ハースツ・インターナショナル1月号』の表紙	1922	リトグラフ	33×24
107	写真「《百合の聖母》のためのモデル(ニューヨーク)」	1904	写真	24×30
108	写真「ドイツ劇場の絵画《悲劇》のためのモデル、ライシエル(ニューヨーク)」	1908	写真	32×24
109	ラベル「サヴォン・ミュシャ石鹸:ライラック、ビャクダン、ヘリオトロープ」	1906	リトグラフ	各21×8
110	素描「《春の夜》のための習作」	1918	パステル	55×45
chapter4 故郷への帰還と祖国に捧げた作品群				
111	チェコスロヴァキアのコロナ紙幣と郵便切手	1918-1931	凸版印刷、活版(凸版)印刷	
112	ルージェナ・イエッセンスカー著『バラードと歌』の挿絵	1903	リトグラフ	18×14.3
113	イグナート・ヘルマン著『ある日の物語』の挿絵	1922	リトグラフ	19×14
114	プラハ国立劇場における舞踏会の出演ソリストの招待状	1900	リトグラフ	14×8
115	版画「解放の年、死に逝く母なる同胞団への遺言状」	1918	リトグラフ	54.5×40
116	版画「春の接吻」	1919	リトグラフ	66×50
117	書簡2通「ズビロフから、1918年/パート・ヴィルドゥンゲンから、1931年」	1918, 1931	インク	
118	書簡「プラハから、1932年」	1932	インク	14×21

作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
119 素描「イヴァンチツツェの思い出」	1903	墨、グワッシュ、水彩、白色ハイライト	31×23
120 素描「目」	1906	墨	14×18
121 素描「横向きの少女の肖像」	1915	木炭、白色ハイライト	54×42
122 素描「少女の肖像」	1915	木炭、白色ハイライト	76×58
123 油彩画「バツヘレム教会で説教するヤン・フス(《スラヴ叙事詩》のための習作)」	1915	油彩(厚紙)	27×35
124 写真「《スラヴ叙事詩》を製作中のミュシヤ(スピロフ)」	1925	写真	24×30
125 写真「《スラヴ叙事詩》を製作中のミュシヤ(スピロフ)」	1926	写真	24×30
126 素描「三人の男」	1920	水彩、墨、白色ハイライト	27×17
127 素描「《民族衣装を着た少女の肖像》のための習作」	1928	木炭、白チョーク	62×45
128 素描「スカーフを身につけた少女」	1930	鉛筆、木炭	27×17
129 水彩画「《スラヴの人々》のための習作」	1930	水彩、油彩、白色ハイライト(厚紙)	23×43
130 油彩画「エリシュカ」	1932	油彩(カンヴァス)	121×81
131 写真「展覧会に展示された油彩画《エリシュカ》の前に立つミュシヤとマリエ(フラデツ・クラーロヴェー)」	1933	写真	32×24
132 素描「瞳の大きな少女」	1938	鉛筆	36×30
133 雑誌『五月』の表紙	1903	リトグラフ	31×23
134 雑誌『ブラハ・イラストレーション・マガジン』の表紙「伝統的なスラヴのクリスマス」	1929	リトグラフ	39×28
135 写真「1902年6月2日、モラヴィアのフロズノヴァー・ルホタに住む芸術家ヨージヤ・ウブルカを訪ねたオーギュスト・ロダンおよびアルフォンス・ミュシヤと同じく芸術家のミロシュ・イラネク、ヨゼフ・マジャトカ(フロズノヴァー・ルホタ)」	1902	写真	24×30
136 写真「子供たちヤロスラヴァ、イージーと一緒にマリエ・ミュシヤ(スピロフ)」	1919	写真	32×24
137 写真「《水差しを持った少女》のためのモデル(ブラハ)」	1927	写真	32×24
138 写真「ミュシヤが最後に自ら撮った肖像写真(ブラハ)」	1937年頃	写真	32×24
139 ポスター「スラヴィア保険会社」	1907	リトグラフ	55×36
140 ポスター「モラヴィア教師合唱団」	1911	リトグラフ	108×80
141 ポスター「ヒヤシンス姫」	1911	リトグラフ	31×23
142 ポスター「イヴァンチツチェ地方の見本市」	1912	リトグラフ	93×59
143 素描「《イヴァンチツチェ地方の見本市》のための習作」	1912	鉛筆	70×50
144 ポスター「チェコスロヴァキアY.W.C.A」	1922	リトグラフ	84×55
145 ポスター「ロシア復興」	1922	リトグラフ	80×47
146 ポスター「《スラヴ叙情詩》展」	1928	リトグラフ	149×102, text78×102
147 写真「《スラヴ叙情詩》の最後に完成された作品および「《スラヴ叙情詩》展」のポスターのためのモデルとなるヤロスラヴァ(スピロフ)」	1926	写真	32×24

タグチ・アートコレクション 球体のパレット展

会期：2019年9月7日(土)～11月10日(日) 57日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
 企画協力：(株)タグチプロジェクト、アート・オフィス・シオバラ
 観覧者数：5,114名
 観覧料：一般1,000(800)円、高大生600(400)円、小中学生300(200)円
 巡回：札幌芸術の森美術館、北海道立帯広美術館

タグチ・アート・コレクションは、日本の実業家・田口弘氏が約30年をかけて収集した、現代の美術の動向を地球規模で見渡すことのできる、優れたコレクションである。本展では、タグチ・アート・コレクションをはじめて北海道で紹介するもので、膨大なコレクションのなかから、日本、アジア、アフリカ、中東、ヨーロッパ各国のすぐれた現代アーティストによる、絵画、彫刻、写真、映像など、幅広い表現形式の作品約60点を選びすぐって展示した。

多様な素材に対する創造的なアプローチを通して、視覚と感情を強くゆさぶるような表現が生み出され、そこには、アーティストが生まれた国の歴史や文化、あるいは現在活動拠点としている場所や社会の状況などが濃く淡くにじむ。21世紀の前半という、「現在」に根ざして表現活動を行なっているアーティストたちの斬新な表現が、来館者にも同時代を生きる来館者にも深い共感をよびおこすものとなった。

【関連事業】 [北海道150年] [アートギャラリー北海道] みんなのアートプロジェクト

●会期中のイベント

ギャラリー・ツアー

日時：9月7日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：21名
 10月19日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：13名
 10月26日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：25名

講師：当館学芸員

会場：当館特別展示室(要観覧券)

映像作品特別上映会

ハンス・オプ・デ・ピーク「The Thread/ Standing Silence (2)」

日時：11月2日(土)～4日(月) 13:30～15:30

会場：当館講堂 参加者数：74名

「球体のパレット」展鑑賞授業(学校教育との連携)

日時：9月27日(日) 13:30～15:00

講師：鈴木ヒラク氏(本展出品アーティスト)

会場：当館特別展示室、講堂、ホール 参加者数：17名(募集制)

美術映画会

日時：9月14日(土) 14:00～ 聴講者数：27名

「世界美術館紀行⑤ オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(約50分)

日時：10月12日(土) 14:00～ 聴講者数：21名

「世界美術館紀行⑥ ナショナル・ギャラリー、テート・ブリテン、コートールド美術館」(約50分)

日時：11月9日(土) 14:00～ 聴講者数：40名

「世界美術館紀行 ウィーン美術史美術館、オーストリア美術館、セガントー二美術館」(約50分)

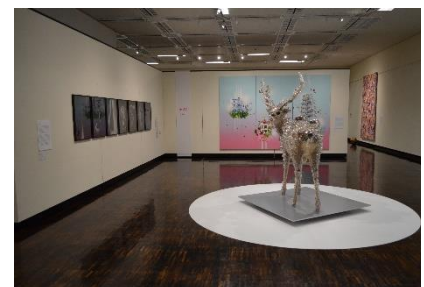
会場：当館講堂(入場無料)



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



展示風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
1	川俣正	Iwamizawa project model-1	2016(平成28)	木製の模型、絵具	60.0×97.0×35.0
2	塩田千春	存在の状態——ドレス	2013(平成26)	鉄棒、糸、衣服、アクリル塗料	150.0×100.0×80.0
3	杉本博司	Sea of Japan, Hokkaido	1986(昭和61)	ゼラチン・シルバーク・プリント	119.4×149.2
4	草間彌生	INFINITY-NETS THROW	2008(平成20)	アクリル、キャンバス	162.0×130.3
5	森村泰昌	セルフポートレート(女優)/ピピアン・リーとしての私-2	1996(平成8)	クロモジェニック・プリント	160.0×200.0
6	森村泰昌	セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私-2	1996(平成8)	クロモジェニック・プリント	200.0×160.0
7	村上隆	黄色い麦藁帽子の女の子	2010(平成22)	アクリル、プラチナ箔、キャンヴァス、アルミフレーム	120.0×120.0
8	奈良美智	コズミック	2007(平成19)	アクリル、キャンヴァス	291.0×218.5
9	奈良美智	サイレント・ヴァイオレンス	1996(平成8)	アクリル、綿キャンヴァス	120.0×110.5
10	奈良美智	ANYMORE FOR ANYMORE	2010(平成22)	セラミック	71.5×54.0×99.0
11	杉戸洋	Untitled	2016(平成28)	油彩、キャンヴァス	52.5×65.0(フレームは66.0×78.0×5.5)
12	丸山直文	リバー I	2003(平成15)	アクリル、綿キャンヴァス	130.0×162.0
13	大庭大介	UROBOROS (spectrum)	2009(平成21)	アクリル、綿キャンヴァス、木製パネル	180.0×180.0
14	大竹伸朗	網膜/境界景 4	1990(平成2) /2015(平成27)	クロモジェニック・プリント、樹脂、木製パネル	230.5×176.5×10.5
15	照屋勇賢	告知-森(ラルフローレン)	2009(平成21)	紙袋、接着剤	10.0×33.0×27.0
16	照屋勇賢	告知-森(ティファニー)	2009(平成21)	紙袋、接着剤	10.0×20.5×21.5
17	浅井裕介	あるくとであう	2016(平成28)	板に土、アクリルレジジン、ペンキ、アクリル	235.0×490.0×2.0
18	鴻池朋子	第2章 巨人	2005(平成17)	アクリル、墨、雲肌麻紙、木製パネル	220.0×630.0
19	名和晃平	PixCell-Deer #51	2018(平成30)	ミクストメディア	219.7×189.0×150.0
20	鈴木ヒラク	GENZO #1	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
21	鈴木ヒラク	GENZO #2	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
22	鈴木ヒラク	GENZO #4	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
23	鈴木ヒラク	GENZO #8	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
24	鈴木ヒラク	GENZO #28	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
25	鈴木ヒラク	GENZO #29	2014(平成26)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
26	鈴木ヒラク	GENZO #84	2015(平成27)	シルバースプレー、シルバーク・インク、紙	77.0×55.0
アジア					
27	トゥクラール&タグラ	空中楼阁 4	2008	油彩、アクリル、キャンヴァス	244.0×366.0
28	N.S.ハルシャ	土星周辺からの遭難連絡	2011	アクリル、キャンヴァス、金箔、加工皮革、木(楽器)	290.0×168.0
29	ジン・メイヤーソン	ラムスプリング(掟からの解放)	2003	油彩、パネル	190.5×165.1
30	ラキブ・ショウ	ポピーの花の聖セバスティアヌス	2011~12	油彩、アクリル、エナメル、グリッター、ライストーン、木製パネル(カバ)	152.0×152.0
中東・アフリカ					
31	タル・アール	The Looooook	2007	油彩、キャンヴァス	200.5×200.5
32	ミリアム・ハダド	祈り	2017	油彩、キャンヴァス	250.0×200.0
33	エリアス・サイム	タイトロープ・モバイル	2009~14	再生電子ワイヤー、パネル	274.3×325.1
ヨーロッパ					
34	ハンス・オブ・デ・ピーク	ステーキング・サイレンス(2)	2013	フルHD(モノクロ)[20分25秒]	
35	エリック・シュミット	信仰告白	2008	油彩、キャンヴァス	270.0×360.0
36	ジャナイナ・チェツペ	プリマヴェーラ	2006	水彩、紙	152.4×302.3
37	ゲルト&ウーヴェ・トビアス	無題	2014	木版、キャンヴァス	200.0×300.0
38	トーマス・ルフ	基層 33 I	2007	クロモジェニック・プリント	184.8×282.8
39	ジョアン・マリア・グスマン&ペドロ・バイヴァ	ナルシストなアヒル	2015	ブロンズ	48.0×128.0×70.0
40	リネッテ・イアドム=ボアキエ	問題にすべきことはどこにもない	2015	油彩、キャンヴァス	140.3×70.5
41	オノ・ヨーコ	信頼して駒を進めよ	1966 /2015	木製チェス台、2脚の木製椅子、32ピースのチェス(すべて白塗装)	サイズ可変
42	ナイジェル・コーク	セイレーン	2011	油彩、帆布で裏打ちされた亜麻布	12×26
43	ダミアン・ハースト	トリエタノールアミン	2008	家庭用グロスペンキ、キャンヴァス	106.7×116.8
44	ジュリアン・オピー	赤いショールをまとったマリア・テレジア	2008	アクリル、アルミフレーム	147.8×108.8
45	セクンディーノ・エルナンデス	無題(パレット・ペインティング)	2017	グアッシュ、アクリル、アルキド塗料、油彩、キャンヴァス	235.0×205.0
46	セクンディーノ・エルナンデス	無題	2014	グアッシュ、アクリル、アルキド塗料、油彩、キャンヴァス	300.0×201.0
47	マーク・クイン	世界の始まり	2010	油彩、キャンヴァス	168.5×261.5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
北米					
48	マシュー・バーニー	Ms. グッドイヤー	1995	Cプリント、光沢プラスチック	
49	ケビンデ・ワイリー	ホワイト・オーキッド	2005	油彩、キャンヴァス	209.5×182.8 (含 フレーム)
50	ライアン・マッギンレー	からし色の草地	2012	Cプリント	121.3×182.3
51	アンディ・ウォーホル	ダブル・ミッキーマウス	1981	スクリーンプリント、ダイヤモンドダスト、紙	77.5×109.2
52	ロブ・ブルイット	ハイ、バーイ(赤)	2008	グリッター、エナメル、キャンヴァス	243.8×182.9
53	エミリオ・ベレス	涙の洪水が大海に	2006	アクリル、ラテックス、パネル	182.8×213.4
54	ベンジャミン・バトラー	無題(葉のない木)	2006	油彩、キャンヴァス	152.4×243.8
55	ウェンディ・ホワイト	エラン(高梨沙羅)	2015	インクジェット、アクリル、キャンヴァス、金色にコーティングされたポリ塩化ビニル	250.8×172.7
56	キース・ヘリング	無題 #4	1988	油彩、キャンヴァス	152.0×152.0
南米					
57	ダリオ・エスコバル	透過彫刻 14	透過彫刻 14	木、ゴム、金属	203.0×205.0×160.0
58	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2013	油彩、キャンヴァス	60.0×39.5
59	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2014	油彩、キャンヴァス	130.0×71.0
60	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2014-15	油彩、キャンヴァス	120.0×180.0
61	大岩オスカー	冰山	2007	油彩、キャンヴァス	224.7×443.2
62	ヴィック・ムニーズ	メディアの海の旅人 カパー・ダーヴィト・フリードリヒにちなんで	2011	デジタルCプリント	240.4×190.0
63	マリナ・レインガンツ	グアラ	2015	油彩、板	36.0×25.0
64	マリナ・レインガンツ	カーチンガ	2015	油彩、キャンヴァス	60.0×80.0
65	オスジェメオス	ブレイクダンスの時間	2015	ミクストメディア、スパンコール、木製ドア	224.0×225.0×7.5
66	ムン・ギョンウォン & チョン・ジュンホ	妙香山館	2014	HDフィルム[22分9秒]	

生誕120年記念 金子鷗亭「川端文学燦文集」

会期：2019年11月22日(土)～2020年2月2日(日) 58日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
 協賛：公益財団法人創玄書道会
 観覧者数：1,819名
 観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上および中学生以下無料

《川端文学燦文集》は、ノーベル賞文学賞を受賞した小説家・川端康成(1899-1972)の代表的作品から抄出された文章を、書家・金子鷗亭(1906-2001)が211点の書作品として1981年に制作したものである。1989年には38点を再制作し、総計249点の大作となった。

本展では、川端康成の生誕120念を記念し、《川端文学燦文集》全点を一堂に展示した。作品のそばには川端の著作もあわせて展示し、文学の表現と書の表現を対照させながら鑑賞できるようにした。また、1989年に再制作された38点については、再制作に込めた思いにもふれることができるよう、1981年に揮毫された初出作品と並べて展示した。

川端文学の奥深い美の世界と、それを内面化し書の表現への研ぎ澄ませていった金子鷗亭による作品群とを、合わせて堪能できる機会となった。



ポスター (B2) / チラシ (A4) 共通デザイン

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：11月23日(土)14:00～14:30 聴講者数：12名
 2020年1月4日(土)14:00～14:30 聴講者数：16名
 1月18日(土)14:00～14:30 聴講者数：11名
 1月25日(土)14:00～14:30 聴講者数：10名

講師：当館学芸員

会場：当館特別展示室(要観覧券)

ギャラリー・トーク

日時：12月22日(土)14:00～14:30 聴講者数：117名

講師：鈴木大有氏(書家・創玄書道会理事)

会場：当館特別展示室(要観覧券)

特別上映「映画で味わう川端文学の世界」

日時：12月7日(土) 13:30～15:30 「古都」(監督:Yuka Saito 出演:松雪泰子、奥田瑛二ほか 117分 2016年)

日時：12月8日(日) 13:30～15:30 「伊豆の踊子」(監督:西川克己 出演:高橋英樹、吉永小百合ほか 87分 1963年)

会場：当館講堂 参加者数：合計55名

美術映画会

日時：1月11日(土) 14:00～ 聴講者数：8名
 「金子鷗亭生誕110年記念 一映像で見る一鷗亭イズム」(約68分)
 会場：当館講堂(入場無料)

冬休みハコビ・アトリエ「豆本に挑戦！」

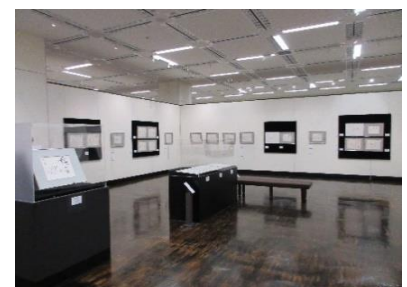
期間：12月14日(土)～2020年1月19日(日) 9:30～16:30
 会場：当館ホール(参加無料) 参加者数：138名

ハコビ・マジカル・ワークショップ「つるし雛に挑戦！」

日時：11月30日(土) 13:30～16:00
 講師：山上照子氏(つるし雛作家)
 会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数：47名(募集制)



チケット



展示風景

松前高等学校書道部×木育 書道パフォーマンスとワークショップ

日時: 10月5日(土) 13:30～16:00

講師: 北海道松前高等学校書道部、天満谷貴之氏(書家・同校教諭)

会場: 当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数: 20名(募集制)

クリスマス・ハンドベル・コンサート

日時: 12月21日(土) 14:00～(約30分)

出演: 遺愛女子中学・高等学校音楽部ハンドベルクワイア

会場: 当館特別展示室(要観覧券) 参加者数: 42名

出品目録

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
1	川端文学燦文集「ちよ」より 身のまはり一面に・・・	1981(昭和56)	墨・紙	35.0×44.5	函館市蔵(当館受託)
2	川端文学燦文集「招魂祭一景」より 現の身が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
3	川端文学燦文集「招魂祭一景」より もう夢と現との・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
4	川端文学燦文集「バツタと鈴蟲」より 前方の土手の裾に・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
5	川端文学燦文集「バツタと鈴蟲」より 不二夫は鈴蟲を・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
6	川端文学燦文集「指輪」より 彼の眼は驚いて・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
7	川端文学燦文集「白い花」より あなたの魂を・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×42.5	函館市蔵(当館受託)
8	川端文学燦文集「十六歳の日記」より 一道の光明が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
9	川端文学燦文集「十六歳の日記」より 一道の光明が・・・	1989(平成元)	墨・絹	33.5×41.0	
10	川端文学燦文集「十六歳の日記」より 家にある僅かの金で・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
11	川端文学燦文集「十六歳の日記」より 夜、家の中は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
12	川端文学燦文集「十六歳の日記」より 夜、家の中は・・・	1989(平成元)	墨・絹	33.0×41.5	
13	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 雨脚が杉の密林を・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
14	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 南伊豆への出口が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
15	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 山々の姿が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
16	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 雨の音の底に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.8	函館市蔵(当館受託)
17	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 雨の音の底に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
18	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 雨が上がって・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
19	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 私は心に清水を感じ・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
20	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より この情緒的な寝姿が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
21	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 私の尋常な好意は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
22	川端文学燦文集「伊豆の踊子」より 頭が澄んだ水に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.2	函館市蔵(当館受託)
23	川端文学燦文集「馬美人」より 裏には竹林が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
24	川端文学燦文集「馬美人」より 月光はかうかうと・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.8×41.5	函館市蔵(当館受託)
25	川端文学燦文集「海の火祭」より 入り乱れた小松の幹の間に・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
26	川端文学燦文集「海の火祭」より 天井の装飾燈の・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
27	川端文学燦文集「海の火祭」より 彼女が動くのは・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
28	川端文学燦文集「海の火祭」より 天井の装飾燈の・・・	1989(平成元)	墨・紙	34.0×42.0	
29	川端文学燦文集「海の火祭」より 梢の美しく揃った・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
30	川端文学燦文集「海の火祭」より 竹の葉は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
31	川端文学燦文集「海の火祭」より 彼女の頬は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
32	川端文学燦文集「海の火祭」より しっかり掴まへてみて・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
33	川端文学燦文集「海の火祭」より 窓の明かりが・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
34	川端文学燦文集「温泉宿」より 黒髪の色の人間らしさが・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
35	川端文学燦文集「温泉宿」より 淵の周りには・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.3×41.0	函館市蔵(当館受託)
36	川端文学燦文集「温泉宿」より 淵の周りには・・・	1989(平成元)	墨・紙	33.5×41.0	
37	川端文学燦文集「温泉宿」より 裏から藁屋根へ・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×39.5	函館市蔵(当館受託)
38	川端文学燦文集「温泉宿」より 彼女の白い首と・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
39	川端文学燦文集「温泉宿」より 水車の氷柱が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
40	川端文学燦文集「浅草紅團」より 彼女の顔のあげげは・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×42.0	函館市蔵(当館受託)
41	川端文学燦文集「浅草紅團」より 陽炎は消えて・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
42	川端文学燦文集「水晶幻想」より 水晶の玉のなかに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
43	川端文学燦文集「父母への手紙」より 春は光線が膨らんで・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
44	川端文学燦文集「抒情歌」より 奇なるかな・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×32.5	函館市蔵(当館受託)
45	川端文学燦文集「抒情歌」より 奇なるかな・・・	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.5	
46	川端文学燦文集「化粧と口笛」より 喜びの極みに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
47	川端文学燦文集「化粧と口笛」より 喜びの極みに・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.3×33.5	
48	川端文学燦文集「慰霊歌」より 蟲の音が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.5	函館市蔵(当館受託)
49	川端文学燦文集「禽獣」より 中庭の土は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
50	川端文学燦文集「散りぬるを」より 根も葉もない・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.5×33.5	函館市蔵(当館受託)
51	川端文学燦文集「末期の眼」より あらゆる藝術の・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×32.7	函館市蔵(当館受託)
52	川端文学燦文集「末期の眼」より あらゆる藝術の・・・	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.3	
53	川端文学燦文集「末期の眼」より 理知の鏡の表を・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×32.5	函館市蔵(当館受託)
54	川端文学燦文集「雪國」より 夜の底が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
55	川端文学燦文集「雪國」より 夜の底が・・・	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.3	
56	川端文学燦文集「雪國」より 雪の色は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
57	川端文学燦文集「雪國」より 雪の色は・・・	1989(平成元)	墨・絹	32.5×41.5	
58	川端文学燦文集「雪國」より 高い響きのまま・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
59	川端文学燦文集「雪國」より 結局この指だけが・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
60	川端文学燦文集「雪國」より 結局この指だけが・・・	1989(平成元)	墨・絹	33.0×41.0	
61	川端文学燦文集「雪國」より なにか涼しく・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
62	川端文学燦文集「雪國」より なにか涼しく・・・	1989(平成元)	墨・絹	33.0×41.0	
63	川端文学燦文集「雪國」より 鏡の底には・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
64	川端文学燦文集「雪國」より 風景は夕闇の・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
65	川端文学燦文集「雪國」より 娘の顔のただなかに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
66	川端文学燦文集「雪國」より 夕景色の流れのなかに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
67	川端文学燦文集「雪國」より つまり娘の眼と・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
68	川端文学燦文集「雪國」より 村はしいんと・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
69	川端文学燦文集「雪國」より 村はしいんと・・・	1989(平成元)	墨・絹	27.0×34.0	
70	川端文学燦文集「雪國」より 人なつかしさが・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
71	川端文学燦文集「雪國」より 蝶はもつれ合ひながら・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×32.7	函館市蔵(当館受託)
72	川端文学燦文集「雪國」より 蝶はもつれ合ひながら・・・	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.0	
73	川端文学燦文集「雪國」より 島村の言葉が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
74	川端文学燦文集「雪國」より 島村の言葉が・・・	1989(平成元)	墨・絹	32.5×42.0	
75	川端文学燦文集「雪國」より 星の群が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.8	函館市蔵(当館受託)
76	川端文学燦文集「雪國」より すべてを静めた・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.2×33.0	函館市蔵(当館受託)
77	川端文学燦文集「雪國」より 自動車で・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
78	川端文学燦文集「雪國」より もう日が昇るのか・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
79	川端文学燦文集「雪國」より 村は寒気の底へ・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
80	川端文学燦文集「雪國」より 村は寒気の底へ・・・	1989(平成元)	墨・絹	27.0×34.2	
81	川端文学燦文集「雪國」より 月はまるで・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
82	川端文学燦文集「雪國」より 萱の穂が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
83	川端文学燦文集「雪國」より 萱の穂が・・・	1989(平成元)	墨・絹	33.0×41.5	
84	川端文学燦文集「雪國」より 静けさが・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
85	川端文学燦文集「雪國」より 襟を透かしてゐるので・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
86	川端文学燦文集「雪國」より 弱い光の日が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
87	川端文学燦文集「舞姫の唇」より まばらな竹の葉は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
88	川端文学燦文集「舞姫の唇」より 山々の紅葉は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
89	川端文学燦文集「舞姫の唇」より 藪の中は・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
90	川端文学燦文集「イタリアの歌」より 生命が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
91	川端文学燦文集「花のワルツ」より 踊りたくても・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
92	川端文学燦文集「女性開眼」より 紅葉が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
93	川端文学燦文集「女性開眼」より 黒に真新しい・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
94	川端文学燦文集「女性開眼」より なんといふ驚き・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
95	川端文学燦文集「女性開眼」より 聞く人の心に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
96	川端文学燦文集「牧歌」より 真珠でも掬ふ匙のやうに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
97	川端文学燦文集「牧歌」より 樹齢が千年を数へる・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
98	川端文学燦文集「牧歌」より 霧はいかにも・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
99	川端文学燦文集「牧歌」より 大きい湖の・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
100	川端文学燦文集「高原」より 大枝がたくましく・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
101	川端文学燦文集「高原」より 枝は広く・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
102	川端文学燦文集「愛する人達 母の初恋」より 掌が雪子の・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
103	川端文学燦文集「ゆくひと」より 寂寞とした・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
104	川端文学燦文集「年の暮」より 花の蕾のやうな・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
105	川端文学燦文集「名人」より 逆光線で見せるあか・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.0×44.0	函館市蔵(当館受託)
106	川端文学燦文集「名人」より 逆光線で見せるあか・・・	1989(平成元)	墨・紙	34.0×44.0	函館市蔵(当館受託)
107	川端文学燦文集「名人」より 口をこころもちあいて・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.0×44.0	函館市蔵(当館受託)
108	川端文学燦文集「名人」より 名人が立ち上った・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×43.5	函館市蔵(当館受託)
109	川端文学燦文集「名人」より ひとつはなしに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
110	川端文学燦文集「名人」より しかしこの名人の・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
111	川端文学燦文集「名人」より このときの名人の後姿は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
112	川端文学燦文集「名人」より 凜と涼しい威が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
113	川端文学燦文集「名人」より いよいよ寄せに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
114	川端文学燦文集「故園」より 実在はわれわれの・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
115	川端文学燦文集「故園」より よしんばまちがひなく・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
116	川端文学燦文集「故園」より この椿では・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
117	川端文学燦文集「故園」より 夢は埋れた記憶である・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
118	川端文学燦文集「故園」より 夢は埋れた記憶である	1989(平成元)	墨・絹	33.0×41.0	
119	川端文学燦文集「故園」より 小舟は磯を漕ぎ・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
120	川端文学燦文集「生命の樹」より 街路樹だった・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
121	川端文学燦文集「生命の樹」より どうして自然が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.7×40.5	函館市蔵(当館受託)
122	川端文学燦文集「哀愁」より 林の向うに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.5	函館市蔵(当館受託)
123	川端文学燦文集「再婚者」より 斜の光線が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
124	川端文学燦文集「少年」より 満天細かき・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
125	川端文学燦文集「少年」より 社頭の杉夜空に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
126	川端文学燦文集「少年」より 町には朝霧が・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
127	川端文学燦文集「反橋」より あなたはどこに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.0×40.0	函館市蔵(当館受託)

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵
128	川端文学燦文集「しぐれ」より 雨戸のやぶれから・・・	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
129	川端文学燦文集「住吉」より 末の世のいのりも・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
130	川端文学燦文集「千羽鶴」より 若葉の影が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
131	川端文学燦文集「千羽鶴」より 女の波が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.5	函館市蔵(当館受託)
132	川端文学燦文集「千羽鶴」より 女の波が・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.5×33.5	
133	川端文学燦文集「千羽鶴」より 朝もやが緑の木々を・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.7×33.5	函館市蔵(当館受託)
134	川端文学燦文集「千羽鶴」より 朝もやが緑の木々を・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.0×34.0	
135	川端文学燦文集「千羽鶴」より 白い釉のなかに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.7×33.5	函館市蔵(当館受託)
136	川端文学燦文集「千羽鶴」より 志野の白い釉は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
137	川端文学燦文集「千羽鶴」より 草の絵は単純で・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.5	函館市蔵(当館受託)
138	川端文学燦文集「千羽鶴」より 風爐や釜の鐵の・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
139	川端文学燦文集「千羽鶴」より 文子が坐った・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
140	川端文学燦文集「千羽鶴」より 唐津は絵つけがなく・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
141	川端文学燦文集「千羽鶴」より 目を上げると・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
142	川端文学燦文集「千羽鶴」より 消えるやうに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
143	川端文学燦文集「千羽鶴」より 星はなかった・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
144	川端文学燦文集「波千鳥」より 美しい炎なのに・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
145	川端文学燦文集「春の目(續千羽鶴-)」より つやのある・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
146	川端文学燦文集「春の目(續千羽鶴-)」より 清純な歯と・・・	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
147	川端文学燦文集「山の音」より 月の夜が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
148	川端文学燦文集「山の音」より 頂上の木々のあひだから・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
149	川端文学燦文集「山の音」より 頂上の木々のあひだから・・・	1989(平成元)	墨・紙	28.0×34.0	
150	川端文学燦文集「山の音」より その萩の向ふに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
151	川端文学燦文集「山の音」より 月は炎の中に・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.3×42.5	函館市蔵(当館受託)
152	川端文学燦文集「山の音」より 雪の上の・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.3	函館市蔵(当館受託)
153	川端文学燦文集「山の音」より 雪の上の・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.0×34.5	
154	川端文学燦文集「山の音」より 朝日が明るかった・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.3	函館市蔵(当館受託)
155	川端文学燦文集「山の音」より 曼珠沙華が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
156	川端文学燦文集「天授の子」より 私は日本の自然の・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
157	川端文学燦文集「虹いくたび」より 虹は花やかな・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×34.0	函館市蔵(当館受託)
158	川端文学燦文集「虹いくたび」より 雲もそんな雲だった・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×40.0	函館市蔵(当館受託)
159	川端文学燦文集「虹いくたび」より 生きた美が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
160	川端文学燦文集「虹いくたび」より 雪晴れは早く・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×34.0	函館市蔵(当館受託)
161	川端文学燦文集「虹いくたび」より 大谷は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
162	川端文学燦文集「虹いくたび」より 大谷は・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.5×34.5	
163	川端文学燦文集「虹いくたび」より もみちの若葉が・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
164	川端文学燦文集「虹いくたび」より もみちの若葉が・・・	1989(平成元)	墨・紙	26.5×33.5	
165	川端文学燦文集「虹いくたび」より 若葉のしげりの・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×34.0	函館市蔵(当館受託)
166	川端文学燦文集「虹いくたび」より 岸の木を見ては・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×39.5	函館市蔵(当館受託)
167	川端文学燦文集「虹いくたび」より 水のおもてに・・・	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
168	川端文学燦文集「虹いくたび」より 水のおもてに・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.0×34.0	
169	川端文学燦文集「舞姫」より 胸の底に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
170	川端文学燦文集「舞姫」より 胸の底に・・・	1989(平成元)	墨・絹	27.5×33.5	
171	川端文学燦文集「舞姫」より 波子の顔から・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.0×33.0	函館市蔵(当館受託)
172	川端文学燦文集「舞姫」より 波子の顔から・・・	1989(平成元)	墨・絹	26.0×33.0	
173	川端文学燦文集「舞姫」より 女の胸に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.0×33.0	函館市蔵(当館受託)
174	川端文学燦文集「舞姫」より 女の胸に・・・	1989(平成元)	墨・絹	27.0×33.5	
175	川端文学燦文集「舞姫」より 品子は壺十能に・・・	1981(昭和56)	墨・絹	26.0×33.0	函館市蔵(当館受託)
176	川端文学燦文集「日も月も」より 京都はしぐれの秋で・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
177	川端文学燦文集「日も月も」より 薄暗い床に浮かぶ・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
178	川端文学燦文集「川のある下町の話」より ものの形も・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
179	川端文学燦文集「川のある下町の話」より 今朝からは・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
180	川端文学燦文集「川のある下町の話」より ふさ子の真剣な・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
181	川端文学燦文集「水月」より 空も雲も雪も・・・	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
182	川端文学燦文集「みづうみ」より みづうみを見ながら・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×39.5	函館市蔵(当館受託)
183	川端文学燦文集「みづうみ」より 坂の上は・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×40.0	函館市蔵(当館受託)
184	川端文学燦文集「みづうみ」より あの少女の美しさは・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×40.0	函館市蔵(当館受託)
185	川端文学燦文集「みづうみ」より あの少女の美しさは・・・	1989(平成元)	墨・紙	33.0×41.5	
186	川端文学燦文集「みづうみ」より この世で最も・・・	1981(昭和56)	墨・紙	32.0×40.0	函館市蔵(当館受託)
187	川端文学燦文集「東京の人」より 鈍い光りの・・・	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
188	川端文学燦文集「東京の人」より 夕日に澄んだ...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
189	川端文学 文集「東京の人」より 一生のうちの...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
190	川端文学燦文集「東京の人」より 散らばったやうな...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.5	函館市蔵(当館受託)
191	川端文学燦文集「東京の人」より 深夜の町は...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
192	川端文学燦文集「東京の人」より 深夜の町は...	1989(平成元)	墨・紙	26.5×33.5	
193	川端文学燦文集「東京の人」より ながいこと...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
194	川端文学燦文集「東京の人」より やがて...	1981(昭和56)	墨・紙	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
195	川端文学燦文集「東京の人」より やがて...	1989(平成元)	墨・紙	26.5×33.5	
196	川端文学燦文集「船遊女」より めぐりあふ...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
197	川端文学燦文集「ある人の生のなかに」より 古代から...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
198	川端文学燦文集「ある人の生のなかに」より 古代から...	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.0	
199	川端文学燦文集「女であること」より 振袖から...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
200	川端文学燦文集「女であること」より うちにとざされてみた...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
201	川端文学燦文集「女であること」より ほっておけば...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
202	川端文学燦文集「女であること」より 市子は男が...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
203	川端文学燦文集「女であること」より うづもれてみた...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
204	川端文学燦文集「女であること」より 夜の来るやみが...	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
205	川端文学燦文集「女であること」より するとちまち...	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
206	川端文学燦文集「風のある道」より 耳たぶに近づく...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
207	川端文学燦文集「風のある道」より 植込みの沈丁花の...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
208	川端文学燦文集「風のある道」より 胸がせまりながら...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
209	川端文学燦文集「弓浦市」より 空の色が...	1981(昭和56)	墨・紙	32.5×41.5	函館市蔵(当館受託)
210	川端文学燦文集「眠れる美女」より 深い闇の底の...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×32.7	函館市蔵(当館受託)
211	川端文学燦文集「眠れる美女」より 樹齢四百年といふ...	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
212	川端文学燦文集「眠れる美女」より 深紅のびろうどに...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
213	川端文学燦文集「眠れる美女」より まったく自由に...	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
214	川端文学燦文集「眠れる美女」より 男を「魔界」に...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
215	川端文学燦文集「眠れる美女」より 男を「魔界」に...	1989(平成元)	墨・絹	26.5×33.5	
216	川端文学燦文集「眠れる美女」より 娘はかけぶとんを...	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
217	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 古い梵鐘の音...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
218	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 青木と竹と...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
219	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 青木と...	1989(平成元)	墨・紙	32.5×41.0	
220	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 雪の冷たい感じと...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×40.5	函館市蔵(当館受託)
221	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 春の夕暮れで...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
222	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 細い雨脚は...	1981(昭和56)	墨・絹	29.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
223	川端文学燦文集「美しさと哀しみと」より 苔寺の庭では...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
224	川端文学燦文集「古都」より そのみちは...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
225	川端文学燦文集「古都」より 苗子のからだの...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
226	川端文学燦文集「古都」より 鯉は重なり合ひ...	1981(昭和56)	墨・絹	24.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
227	川端文学燦文集「古都」より 千重子は首まで...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
228	川端文学燦文集「古都」より あたたかいなみだが...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
229	川端文学燦文集「古都」より 心の底にしみて...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)
230	川端文学燦文集「古都」より 心の底にしみて...	1989(平成元)	墨・絹	27.0×34.0	
231	川端文学燦文集「古都」より 北山杉は...	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
232	川端文学燦文集「秋の雨」より 紅葉した山に...	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×40.5	函館市蔵(当館受託)
233	川端文学燦文集「秋の雨」より 谷川の白い石にも...	1981(昭和56)	墨・絹	34.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
234	川端文学燦文集「秋の雨」より 窓にあたった...	1981(昭和56)	墨・絹	32.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
235	川端文学燦文集「片腕」より あらはに空気と...	1981(昭和56)	墨・紙	30.0×37.0	函館市蔵(当館受託)
236	川端文学燦文集「片腕」より 霧雨を空中に...	1981(昭和56)	墨・紙	30.0×37.0	函館市蔵(当館受託)
237	川端文学燦文集「片腕」より 私は膝においた娘の...	1981(昭和56)	墨・紙	29.5×37.0	函館市蔵(当館受託)
238	川端文学燦文集「片腕」より 夜の暗さとほちがふ...	1981(昭和56)	墨・紙	30.0×37.0	函館市蔵(当館受託)
239	川端文学燦文集「片腕」より そして娘の手は...	1981(昭和56)	墨・紙	29.5×37.0	函館市蔵(当館受託)
240	川端文学燦文集「片腕」より さうしてそれは...	1981(昭和56)	墨・紙	30.0×37.0	函館市蔵(当館受託)
241	川端文学燦文集「片腕」より さうしてそれは...	1989(平成元)	墨・紙	30.0×37.0	
242	川端文学燦文集「たんぽぽ」より 鐘の音は...	1981(昭和56)	墨・紙	27.0×33.5	函館市蔵(当館受託)
243	川端文学燦文集「美しい日本の私-その序説-」より 一休の道歌	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.5	函館市蔵(当館受託)
244	川端文学燦文集「美しい日本の私-その序説-」より 一輪の花は	1981(昭和56)	墨・紙	34.5×44.0	函館市蔵(当館受託)
245	川端文学燦文集「美しい日本の私-その序説-」より 冬ですと...	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
246	川端文学燦文集「美の存在と発見」より 初空に...	1981(昭和56)	墨・絹	26.5×33.0	函館市蔵(当館受託)

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
247	川端文学燦文集「美の存在と発見」より 初空に・・・	1989(平成元)	墨・紙	27.5×34.0	
248	川端文学燦文集「髪は長く」より 冬の夜明け・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)
249	川端文学燦文集「竹の声桃の花」より 山や林を歩いて・・・	1981(昭和56)	墨・絹	33.0×41.0	函館市蔵(当館受託)

※記載のないものは当館蔵

没後30年 橋本三郎展／生誕100年 鶴川五郎展

会期：2020年2月8日（土）～4月5日（日） 23日間（2/29-3/31は臨時休館）

主催：北海道立函館美術館

共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか

協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：831名

観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上及び
中学生以下無料。

橋本三郎(1913～1989)は函館に生まれ、函館商業学校(現・北海道函館商業高等学校)在学中に赤光社、北海道美術協会(道展)に入選、北海道の画壇で頭角を表した。上京して国画会や新文展で作品を発表、戦後は函館に戻り、全道美術協会の創立や赤光社の再建に加わり北海道画壇をけん引する画家として活躍した。

鶴川五郎(1919～2008)は岩手県の大船渡に生まれた洋画家。1950年、北海道に渡り、以後、道南で教鞭をとりながら独立展、全道展、赤光社などで作品を発表。道南地域で後進の指導にも貢献した。

戦後の道南画壇の振興に尽くしたこの二人の画家について、橋本三郎は没後30年、鶴川五郎は生誕100年の節目を迎えることを機に、それぞれの画業を所蔵品により振り返る展示となった。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：2月15日(土)14:00～14:30 聴講者数：21名

2月22日(土)14:00～14:30 聴講者数：24名

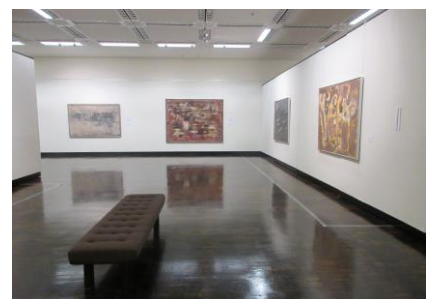
講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



展示風景

出品目録

没後30年 橋本三郎展

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	花と少女	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	41.2×31.2	
2	樹間望岬	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
3	土器ならぶ	1944(昭和19)	油彩・キャンバス	79.9×114.7	
4	埴輪	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	100.5×80.7	
5	緑陰	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	116.5×90.5	
6	湿地	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	130.5×97.6	
7	逆光卓とオレンジ	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	100.1×65.8	
8	室内静物	1950(昭和25)頃	油彩・キャンバス	79.8×99.6	
9	北方アラバスク	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	80.0×100.2	
10	日蝕	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	116.7×80.3	
11	ツカマレタ鶏	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
12	鶏(シャモ)	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
13	機械A	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	80.5×100.0	
14	馬	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	162.2×131.2	
15	牛頭	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	130.0×97.0	
16	カラス	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	32.4×41.1	
17	白いケシ	1956-58(昭和31-33)頃	油彩・キャンバス	31.8×40.9	
18	白い牡牛	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	130.0×161.5	
19	奇声	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	161.8×130.5	
20	ケダモノ	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
21	ユーカラB	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	130.3×162.5	
22	寥落	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	181.4×227.3	
23	飛翔A	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	129.5×192.0	
24	然別湖	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	70.0×145.5	
25	蝶	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	46.0×53.5	
26	残照のノートルダム	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	145.6×112.2	
27	マレー地区の古い家	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	50.2×65.0	
28	「橋本三郎石版画集 ヨーロッパにて」より石畳	1977(昭和52)	リトグラフ・紙	38.7×23.0	
29	「橋本三郎石版画集 ヨーロッパにて」より陸橋の見える風景	1977(昭和52)	リトグラフ・紙	42.0×30.0	
30	「橋本三郎石版画集 ヨーロッパにて」より新聞屋とマドモアゼル	1977(昭和52)	リトグラフ・紙	42.0×30.0	
31	「橋本三郎石版画集 ヨーロッパにて」より橋上の夜	1977(昭和52)	リトグラフ・紙	42.0×30.0	
32	「橋本三郎石版画集 ヨーロッパにて」よりカフェ・プリマゴ	1977(昭和52)	リトグラフ・紙	38.5×26.3	

生誕100年 鵜川五郎展

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	種差の岩礁	1937(昭和12)	油彩・板	24.3×33.4	
2	暮色	1939(昭和14)	油彩・板	31.8×41.0	
3	南昌山	1943(昭和18)	油彩・板	24.3×33.4	
4	1949年の自画像	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	60.6×50.0	
5	林の月	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	53.1×41.3	
6	獄(ひとや)	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
7	作品F	1960(昭和35)	油彩・合板	60.3×45.0	
8	月と詩人	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	46.0×38.0	
9	行路病者	1968(昭和43)	油彩・板	182.5×227.3	
10	旅人	1976(昭和51)	油彩・キャンバス	117.2×91.0	
11	大正八年生れの肖像	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	130.5×162.3	
12	病める子	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	
13	青春の墓標	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	
14	1944年病める森	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
15	風の野A	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
16	風の野B	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
17	野の行人	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
18	うすれ日	1985(昭和60)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	
19	山裾の道	1990(平成2)	油彩・キャンバス	130.4×162.3	
20	農園冬景	1995(平成7)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
21	湖月	2003(平成15)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
22	朔北の野	2003(平成15)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
23	盃のある風景B	2004(平成16)	油彩・キャンバス	116.8×91.1	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
24	山裾 みどりの中の衆落	2005(平成17)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
25	森の魍魎魍魎A	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
26	森の魍魎魍魎B	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
27	森の魍魎魍魎C	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×60.6	
28	森の魍魎魍魎D	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×60.6	

※作品はいずれも当館蔵

愛するひと やなせたかしの世界

会期：2020年6月5日(金)～6月14日(日) 10日間 (4/5-6/4は臨時休館)
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：公益財団法人やなせたかし記念アンパンマン・ミュージアム振興財団、やなせスタジオ、フレーベル館、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：2,878名

観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中学生300(200)円

やなせたかし(1919-2013)は戦後、漫画家として作品を制作する一方、詩や絵本、脚本、アニメ映画など幅広い領域でも活躍した。自身を取り巻く世界の中で起こるささやかなできごとを、心を震わせ傷つけてしまう平凡な人間にそっと寄り添うような、暖かい愛の言葉やイメージを一貫して表現してきた。初期の漫画家としての足跡から、抒情の旗印となった『詩とメルヘン』の表紙原画、自らの詩をしたためた書、絵本、そしてアンパンマンをモチーフとする作品群を展示し、やなせたかしの世界を堪能する機会を提供した。また、『詩とメルヘン』で活躍した函館出身のイラストレーター味戸ケイコ(1943年生)の作品もあわせて紹介した。



ポスター(B2)、チラシ(A4)共通デザイン



展示風景



チケット

出品目録

作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
I 漫画家／デザイナーとして				
1 「ウルトラ.P 怪人ナメラー」原画		ペン、紙	11×5	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
2 ヒゲのある子供たち		ペン、紙	13×8	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
3 双子はなかよし		ペン、紙	45×35	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
4 ビールの王様		印刷物	46×35	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
5 『週刊漫画TIMES』表紙	1960(昭和35)	雑誌	32×24	北海道立図書館
6 『週刊漫画TIMES』表紙	1961(昭和36)	雑誌	61×46	北海道立図書館
7 『週刊漫画TIMES』表紙	1962(昭和37)	雑誌	10×10	北海道立図書館
8 『週刊漫画TIMES』表紙	1965(昭和40)	雑誌	41×36	北海道立図書館
9 Mr.Bo	1977(昭和52)	ペン、紙	32×18	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
10 無口なボオ氏	1977(昭和52)	ペン、紙	28×17	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
11 ボオ氏	1977(昭和52)	ペン、紙	42×60	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
12 メイ犬BON(なげいれ流生け花)		ペン、紙	16×81	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
13 『週刊朝日』連載マンガ「ボオ氏」①～⑩	1967(昭和42)	雑誌	33×19	北海道立図書館
14 『週刊漫画TIMES』1～27号表紙	1957～1967(昭和32～42)	雑誌	24×30	北海道立図書館
15 珍犬ミミ(歌を忘れたカナリア／長い長い傘／乾盃！花のサカヅキで)		ペン、紙		やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
II 「詩とメルヘン」創刊				
16 創刊☆はじめて世にでる春の号『詩とメルヘン』創刊号(季刊)表紙原画	1973(昭和48)	アクリル絵具・キャンバスボード	32×23×3	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
17 いつのまにか黄色い草原の秋の号『詩とメルヘン』10月号第3号(隔月刊)表紙原画	1973(昭和48)	アクリル絵具・キャンバスボード	32×23×3	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
18 紅い夕やけに金色の落葉ちる9月号『詩とメルヘン』表紙原画	1974(昭和49)	アクリル絵具・キャンバスボード	29×22×4	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
19 秋の野のはてのちいさな家にすむ人も読んでいるのかな10月号『詩とメルヘン』表紙原画	1974(昭和49)	アクリル絵具・キャンバスボード	23×17×4	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
20 ういっういっういっうぼみがひらくような3月号『詩とメルヘン』表紙原画	1975(昭和50)	アクリル絵具・キャンバスボード	30×25×3	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
21 ひとつぶ雨がおちるたびにひとつの花が咲くんだ4月号『詩とメルヘン』表紙原画	1976(昭和51)	アクリル絵具・キャンバスボード	21×12×2	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
22 夕やけの空の色がしみてくるのかな リンゴが紅い9月号『詩とメルヘン』表紙原画	1976(昭和51)	アクリル絵具・キャンバスボード	33×26×3	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
23 美しい五月となれば風はそよ木は緑5月号『詩とメルヘン』表紙原画	1977(昭和52)	アクリル絵具・キャンバスボード	67×50	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
24 まるで宝石をちりばめたような 海辺の夜のそよ風にとって5月号『詩とメルヘン』表紙原画	1978(昭和53)	アクリル絵具・キャンバスボード	各43×15	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
25 陽炎は春がくゆらすパイプのけむり4月号『詩とメルヘン』表紙原画	1979(昭和54)	アクリル絵具・キャンバスボード	61×45	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
26 ほら季節のかわりめの飛行船がとんできたよ9月号『詩とメルヘン』表紙原画	1979(昭和54)	アクリル絵具・キャンバスボード	58×43	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
27 さびしそうな空を虹はなやかにしておくれ10月号『詩とメルヘン』表紙原画	1979(昭和54)	アクリル絵具・キャンバスボード	58×44	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
小特集 やなせたかしが見出したアーティスト 函館生まれの 味戸ケイコ				
28 安房直子「声の森」挿画	1974(昭和49)	水彩、紙	41×41	作者
29 作者不詳「わたし」	不詳	鉛筆、水彩、カードボード	41×41	作者
30 茜のとき(原詩不明)	不詳	鉛筆、水彩、カードボード	31×31	作者
31 石川敏夫『白夢』挿画 海辺の夢	不詳	鉛筆、水彩、カードボード	各30×22	作者
32 安房直子『白樺のテーブル』絵本表紙	1976(昭和51)	鉛筆、水彩、カードボード	34×24	作者
33 舟崎克彦『よあけのゆめ』挿画	1978(昭和53)	鉛筆、水彩、カードボード	30×46	作者
34 アンデルセン『マッチ売りの少女』(サンリオ・ギフト文庫)表紙	1975(昭和50)	鉛筆、水彩、カードボード	36×28	作者
35 隔月刊誌『終末から』表紙、裏表紙(終刊号)	1974(昭和49)	鉛筆、水彩、カードボード	21×18	作者
36 空の歓喜	2019(令和元)	鉛筆、水彩、カードボード	21×15	作者

作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
37 作者不詳「朝の時間」	不詳	鉛筆、水彩、カードボード	32×24	作者
38 薔薇とアリス	2016(平成28)	鉛筆、水彩、カードボード	23×33	作者
39 五月のスカート	2017(平成29)	鉛筆、水彩、紙	21×28	作者
40 透きとおる愛A	1990(平成2)	鉛筆、水彩、カードボード	40×28	作者
41 透きとおる愛B	1990(平成2)	鉛筆、水彩、カードボード	22×15	作者
42 松谷みよ子『わたしのいもうと』挿画	1987(昭和62)	鉛筆、水彩、カードボード	26×44	作者
43 岩瀬成子『夜くる鳥』表紙案	1997(平成9)	鉛筆、水彩、カードボード	26×18	作者
44 岩瀬成子『夜くる鳥』挿画	1997(平成9)	鉛筆、水彩、カードボード	46×33	作者
45 茨木のり子「明石の海」挿画	2011(平成23)	鉛筆、水彩、カードボード	28×20	作者
46 角野栄子「男の子って」挿画	2010(平成22)	鉛筆、水彩、カードボード	28×20	作者
47 舟崎克彦『あのこがみえる』挿画	1975(昭和50)	鉛筆、水彩、カードボード	36.5×25	作者
48 立川しほり「雪谷」挿画 雪谷『詩とメルヘン』1983年1月号	1983(昭和58)	鉛筆、水彩、カードボード	28×21	個人蔵
49 わすれな草『詩とメルヘン』挿画		水彩、鉛筆、カードボード	38×26	個人蔵
50 鳥の娘Ⅱ	1976(昭和51)	鉛筆、水彩、カードボード	44×31	作者
51 炎の花『詩とメルヘン』挿画		水彩、鉛筆、カードボード	28×22	個人蔵
52 桜の窓 松谷みよ子『わたしのいもうと』挿画(未掲載)	1987(昭和62)	水彩、鉛筆、カードボード	50×36	個人蔵
53 『白夢』、『白樺のテーブル』、『マッチ売りの少女』、『よあけのゆめ』表紙・挿絵			42×31	個人蔵
54 味戸ケイコ 画集・挿絵			15×23	個人蔵
Ⅲ 詩・書・絵本				
55 書「手のひらを太陽に」	1996(平成8)	墨、紙	36×26	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
56 詩集『愛する歌1』	1967(昭和42)	書籍(山梨シルクセンター出版部)	23×20	北海道立図書館
57 書「わすれないであのころのこと」		墨、紙	27×25	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
58 詩集『さびしすぎるよ銀河系』	1978(昭和53)	書籍(サンリオ)	44×32	北海道立図書館
59 書「あるいちにちがあった」		墨、紙	23×15	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
60 書「よろこびなんかありまして」		墨、紙	60×30	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
61 詩集『人間なんてさびしいね』	1976(昭和41)	書籍(サンリオ出版)	36×26	北海道立図書館
62 書「なにかをひとつしるたびに」		墨、紙	29×20	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
63 詩集『星屑の木のしたで』	1977(昭和52)	書籍(サンリオ)		北海道立図書館
64 書「分水嶺をひとしずくの水滴が」		墨、紙		やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
65 詩集『十二の真珠』	2012(平成24)	書籍(復刊ドットコム)		北海道立図書館
66 書「勇気がぼくにささやいた」		墨、紙	120×80	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
67 詩集『愛する歌第2集』	1967(昭和42)	書籍(山梨シルクセンター出版部)	330×262	北海道立図書館
68 書「夕日よ君はさびしいか」		墨、紙	120×80	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
69 書「ほおえむことを忘れちゃいけない」		墨、紙	120×80	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
70 『しのえほん5 パンツはきかえのうた』	1974(昭和49)	国土社	60×38	北海道立図書館
71 『夜霧の騎士』	1979(昭和54)	書籍(サンリオ)	各20×8	北海道立図書館
72 『こどものくに傑作絵本8 しっぽのうた』	1976(昭和41)	金の星社	各108×39	北海道立図書館
Ⅳ アンパンマン誕生				
73 怪傑アンパンマン1 (上:単行本/下:1976年3月号)	1976(昭和51)	ミクストメディア、紙	各73×32	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
74 怪傑アンパンマン2 (上右・上左:1975年10月号/中右:1976年3月号、中左:1976年2月号/下:1975年4月号)	1975-76(昭和50-51)	ミクストメディア、紙	31×23	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
75 怪傑アンパンマン3 (上:1975年7月号/下:29.7×20.8)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	30×18	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
76 怪傑アンパンマン4 (上右:単行本、上左:1975年10月号/下:1976年3月号)	1975-76(昭和50-51)	ミクストメディア、紙	25×18	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵
77 怪傑アンパンマン5 (上:1975年6月号、上左:1976年1月号)	1975-76(昭和50-51)	ミクストメディア、紙	32×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
78 怪傑アンパンマン6 (上:1975年3月号/下右:単行本、下左:1975年8月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	41×32	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
79 怪傑アンパンマン7 (上右:1975年2月号、上左:1975年3月号/下:1975年5月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	41×32	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
80 怪傑アンパンマン8 (上:1976年1月号/下:単行本)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	42×32	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
81 怪傑アンパンマン9 (上:1976年4月号/下:1976年2月号)	1976(昭和51)	ミクストメディア、紙	31×42	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
82 怪傑アンパンマン10 (上右:単行本、1976年5月号、上左:1975年4月号/下:1975年9月号)	1975-76(昭和50-51)	ミクストメディア、紙	24×32	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
83 怪傑アンパンマン11 (上:1975年1月号/1975年2月号)	1974-75(昭和49-50)	ミクストメディア、紙	32×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
84 怪傑アンパンマン12 (上:1975年9月号/下:1975年11月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	32×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
85 怪傑アンパンマン13 (上:1975年7月号/下右・下左:単行本)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	32×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
86 怪傑アンパンマン14 (上:1975年11月号/下:単行本)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	32×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
87 怪傑アンパンマン15 (上:1975年6月号/下:1975年2月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	各9×14	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
88 怪傑アンパンマン16 (上:1975年12月号/下:単行本)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	各9×14	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
89 怪傑アンパンマン17 (上右:1975年12月号、上左:1975年11月号/中:1975年9月号/下右:1976年5月号、下左:単行本)	1975-76(昭和50-51)	ミクストメディア、紙	各9×14	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
90 怪傑アンパンマン18 (上右・上左:1975年5月号/下:1976年7月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	各9×14	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
91 怪傑アンパンマン19 (上:1975年9月号/下:号数不明)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	各9×14	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
92 怪傑アンパンマン20 (上:1975年8月号/下:1975年5月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	14×9	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
93 怪傑アンパンマン21 (上:1975年7月号/下右:号数不明、下左:1975年4月号)	1975(昭和50)	ミクストメディア、紙	30×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
94 顔をあげるアンパンマン	1996(平成8)	アクリル、キャンバス	30×24	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
95 三日月の夜のロールパンナ		アクリル、キャンバス	22×30	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
96 くずれるつみきの城		アクリル、キャンバス	30×22	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
97 木の下の人	1996(平成8)	アクリル、キャンバス	216×75	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
98 かくれんぼの木		アクリル、キャンバス	208×77	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
99 雲の峰	1996(平成8)	アクリル、キャンバス	208×77	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
100 えんぴつ島のアンパンマン	1996(平成8)	アクリル、キャンバス	173×58	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
101 パン工場の春		アクリル、キャンバス	206×76	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
102 アンパンマン(複製)	2002(平成14)	複製	205×76	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
103 ばいきんまん(複製)	2002(平成14)	複製	29×20	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

「後世に伝えたい文化遺産 珠玉の仏教美術① 平安時代 I 密教と曼荼羅世界」(約45分)
会場: 当館講堂(入場無料)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
I 章 近代日本画の精華						
1	橋本 雅邦	十牛図	明治中期	紙本墨画／軸	128.7×56.1	北海道立近代美術館
2	小茂田 青樹	月あかり (野趣四題のうち夏沢清夜)	1913(大正2)	絹本彩色／軸	54.1×71.6	北海道立近代美術館
3	堂本 印象	四季図 (左から)「霞山春光」 「江畔晴色」 「金風天心」 「爽景白映」	昭和初期	絹本彩色／軸	127.0×28.0 127.0×28.2 127.0×28.0 126.8×28.0	北海道立近代美術館
4	横山 大観	陶靖節「幽篁弹琴」	1919(大正8)	絹本彩色／軸	154.2×70.5	北海道立近代美術館
5	下村 観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正8)	絹本彩色／軸	156.0×70.5	北海道立近代美術館
6	松岡 映丘	花のあした	1933(昭和8)	絹本彩色／軸	93.0×135.0	北海道立近代美術館
7	結城 素明	雲山清趣	1950(昭和25)頃	絹本彩色／軸	58.5×71.5	北海道立近代美術館
8	竹内 栖鳳	家兔	1939(昭和14)	絹本彩色／軸	61.5×72.5	北海道立近代美術館
9	松岡 映丘	十二月月連幅 正月(白馬節会)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
10	高木 保之助	十二月月連幅 二月(紅白梅)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
11	吉村 忠夫	十二月月連幅 三月(雛祭)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
12	狩野 光雅	十二月月連幅 四月(山桜)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
13	服部 有恒	十二月月連幅 五月(武者)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
14	山口 蓬春	十二月月連幅 六月(五位鷺)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
15	小村 雪岱	十二月月連幅 七月(七夕)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
16	遠藤 教三	十二月月連幅 八月(朝顔)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
17	岩田 正巳	十二月月連幅 九月(菊慈童)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
18	長谷川 路可	十二月月連幅 十月(秋山帰家)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
19	吉田 秋光	十二月月連幅 十一月(山茶花に小禽)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
20	穴山 勝堂	十二月月連幅 十二月(松に雪)	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0	北海道立近代美術館
II 章 北の日本画の巨匠 北上聖牛と山口蓬春						
21	山口 蓬春	向日葵	1955(昭和30)	紙本彩色／額	82.3×60.0	北海道立近代美術館
22	山口 蓬春	冬菜	1955(昭和30)	紙本彩色／額	48.0×63.0	北海道立近代美術館
23	山口 蓬春	籠中春花	1956(昭和31)	紙本彩色／額	60.5×83.1	北海道立近代美術館
24	山口 蓬春	紫陽花	1957(昭和32)	紙本彩色／額	58.6×72.5	北海道立近代美術館
25	山口 蓬春	松原図	1932(昭和7)	紙本彩色／屏風(二曲一雙)	各168.0×169.9	北海道立函館美術館
26	北上 聖牛	はなれ国の初夏	1916(大正5)	絹本彩色(裏箔) 屏風(六曲一隻)	170.0×375.0	北海道立近代美術館
27	北上 聖牛	晴間	1928(昭和3)	絹本彩色／屏風(二曲一隻)	180.3×183.0	北海道立近代美術館
28	北上 聖牛	竹図	1925(大正14)頃	絹本彩色／屏風(六曲一隻)	168.5×372.0	北海道立函館美術館
III 章 北の日本画の巨匠 岩橋英遠						
29	岩橋 英遠	明治	1950(昭和25)	紙本彩色／屏風(二曲一雙)	170.0×184.0	個人蔵
30	岩橋 英遠	誌(一)	1982(昭和57)	紙本彩色／額	182.0×121.0	北海道立近代美術館
31	岩橋 英遠	誌(二)	1982(昭和57)	紙本彩色／額	182.0×121.0	北海道立近代美術館
32	岩橋 英遠	道産子追憶之巻	1978～1982 (昭和53～57)	紙本彩色／額	60.7×2908.8	北海道立近代美術館
IV 章 北の日本画の巨匠 片岡球子						
33	片岡 球子	雅楽(女神と胡飲酒)	1967(昭和42)	紙本彩色／屏風(四曲一隻)	181.7×260.0	北海道立近代美術館
34	片岡 球子	面構 浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生	1988(昭和63)	紙本彩色／額	181.0×350.0	北海道立近代美術館
35	片岡 球子	富士	1975(昭和50)	紙本彩色／額	115.0×78.5	北海道立近代美術館
36	片岡 球子	羊蹄山の秋色	1986(昭和61)	紙本彩色／額	71.5×90.0	北海道立近代美術館
37	片岡 球子	学ぶ子等	1933(昭和8)	紙本彩色／額	137.0×137.0	北海道立近代美術館
38	片岡 球子	初夏	1956(昭和31)	紙本彩色／額	174.2×217.5	北海道立近代美術館
道産子日本画家のニューフェイス 葛西由香の世界						
39	葛西由香	明治物語	2016(平成28)	紙本(麻紙)彩色／襖	180.0×360.0	個人蔵
40	葛西由香	町	2017(平成29)	紙本彩色／額	24.1×45.5	網走市立美術館
41	葛西由香	街	2017(平成29)	紙本彩色／額	24.1×41.6	網走市立美術館
42	葛西由香	誰も知らない	2013(平成25)	紙本(麻紙)彩色、アルミ箔／額	99.5×125.0	網走市立美術館
43	葛西由香	彼誰時少女図 逢魔時少女図	2018(平成30) 2016(平成28)	紙本彩色、アルミ箔、金箔／額	各181.8×113.6	個人蔵
44	葛西由香	雨	2018(平成30)	紙本彩色	38.0×45.5	個人蔵
45	葛西由香	悪意	2018(平成30)	紙本彩色	24.2×33.3	個人蔵
46	葛西由香	あったか〜い	2019(令和元)	紙本彩色	31.8×41.0	個人蔵
47	葛西由香	一方通話	2019(令和元)	紙本彩色	各41.0×27.3	個人蔵
48	葛西由香	正しいこと	2019(令和元)	紙本彩色	22.0×33.3	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
49	葛西由香	酔狂	2019(令和元)	紙本彩色	41.0×27.3	個人蔵
50	葛西由香	じゃがいも(「草の芽図」より)	2020(令和2)	紙本彩色	15.0x15.0	個人蔵
51	葛西由香	ブロッコリー(「草の芽図」より)	2020(令和2)	紙本彩色	15.0x15.0	個人蔵
52	葛西由香	にんじん(「草の芽図」より)	2020(令和2)	紙本彩色	15.0x15.0	個人蔵

リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅

会期：2020年10月3日(土)～11月29日(日) 51日間
 主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、リサ・ラーソン展函館展実行委員会
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 特別協力：リアン・デザイン・ミュージアム
 協力：フィンエアー、フィンエアーカーゴ、北海道旅客鉄道株式会社
 函館支社、五稜郭タワー株式会社
 企画：アートインプレッション、松屋
 企画協力：トンカチ

観覧者数：12,513名
 観覧料：一般1,200(1000)円、高大生700(500)円、中学生400(300)円
 小学生以下無料(要保護者同伴)
 巡回：松屋銀座、いわき市美術館ほか。

リサ・ラーソン(1931年生まれ)は、スウェーデンの陶芸作家。表情豊かな動物やユーモラスな人物の姿をモチーフとし、素朴で温かみあふれる作品で知られている。ヨーテボリのアート・スクールで陶芸を学び、陶器制作会社グスタフスベリ社で20年以上にわたりデザイナーとして数々の作品を生み出した。その後、フリーになり、現在にいたるまで一点物の作品(ユニークピース)を制作し続けている。
 本展では、初期から近年に至る約200点の作品のほか、ステイグ・リンドベリら北欧を代表する作家たちの作品約20点を展示。リサ・ラーソンの創作の旅路をたどりながら、その豊かな表現世界に触れる機会を提供した。



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン

【関連事業】

見どころ解説

日時：10月3日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：25名
 10月10日(土)14:00～(約30分) 聴講者数：25名
 10月31日(土)14:00～(約30分) 聴講者数：21名
 講師：当館学芸員
 会場：当館講堂(聴講無料)

キッズ・ツアー

日時：10月11日(日) 14:00～(約30分) 聴講者数：23名
 11月1日(日)14:00～(約30分) 聴講者数：25名
 11月22日(日)14:00～(約30分) 聴講者数：14名
 講師：当館学芸員
 会場：当館講堂(聴講無料)

ハコビ・マジカル・ワークショップ「陶芸の絵付けに挑戦!!」

日時：10月24日(土) 13:30～(約2時間)
 講師：高井秀樹氏(陶芸家)
 会場：当館特別展示室、講堂 参加者数：10名(募集制)

芸術週間ハコビ・アトリエ「ノームを作って連れて帰ろう！」

期間：11月1日(日)～11月7日(土)9:30～16:30
 会場：当館ホール(参加無料) 参加者数：59名

美術映画会

日時：10月17日(土) 14:00～ 聴講者数：14名
 「後世に伝えたい文化遺産 珠玉の仏教美術④ 平安時代Ⅱ 華麗なる王朝の美」(約45分)
 日時：11月7日(土) 14:00～ 聴講者数：8名
 「後世に伝えたい文化遺産 珠玉の仏教美術⑤ 鎌倉時代 運慶と快慶」



チケット



展示風景

(約45分)

会場: 当館講堂(入場無料)

出品目録

※作品はいずれもリサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
若き日のアーティスト					
1	リサ・ラーソン	ネコ(ユニークピース)	1970年頃	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬	92.0×73.0
2	リサ・ラーソン	リサが14歳の時に描いた祖父母の家の絵	1945年	オイル、ベニヤ板木	175.0×68.5
3	マティアス・ラーソン	リサの祖父母の家	1973年	写真	72.7×91.0
4	マティアス・ラーソン	息子マティアスによるリサの祖父母の家とその写真	1973年	バルサ材	166.0×101.0
5	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	1930年代	布	32.0×12.0
6	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	1920年代	布、張子	19.0×7.5
7	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	1900年初期	プラスチック、布	35.0×12.0
8-15	リサ・ラーソン	幼少時代に作られた木製人形	1940年代	木	18.0×6.5×4.0他
形成期、ヨーテボリにて					
16	リサ・ラーソン	ネコ(ユニークピース)	1952-1954年	陶器、手びねり	8.4×11.4×3.0
17-19	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー(ユニークピース)	1952-1954年	陶器	7.0×7.3×6.0他
20-21	リサ・ラーソン	鉢(ユニークピース)	1952-1954年	陶器	3.5×直径14.9他
22-23	リサ・ラーソン	ロールストランド社のデザインが用いられた装飾クラスでの作品	1952-1954年	磁器、釉薬	30.0×25.0×2.0他
24	ピリエル・カイピアイネン	レリーフ	1954-1958年	ファイアンス	41.0×35.0
25	クット・エークホルム	花器	1930年代	炆器、釉薬	直径15.0
26	撮影者不詳	ヨーテボリの学生時代のリサ	1950年代初期	写真	19.0×14.5
27	撮影者不詳	リサとグンナルと友人たち(南フランスにて)	1951年	写真	12.0×14.0
28	ボー・ダーリン	リサとグンナル(グスタフスベリ社の工房にて)	1960年頃	写真	29.0×24.0
29	エンドレ・ネームス	やましい心	1964年	インク、テンペラ	63.0×72.5
30	グンナル・ラーソン	リサの肖像画	1952年	エッグオイル、テンペラ	101.0×73.5
31	ヨルゲン・セッテルクヴィスト	オリジナル・ランダラ・レッド・ホット・スタンパーズ	1954年	カラー・リトグラフ	41.0×54.0
32	作者不詳	バウレ族のプレブレゴリ仮面	1950年代初期にパリにて購入	木彫	41.0×91.0×75.0
グスタフスベリの工房					
33	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1955-1956年頃	炆器、ろくろ成形、釉薬	13.5×直径10.3
34	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1950年代	炆器、釉薬	9.0×9.5×7.7
35	リサ・ラーソン	鉢(ユニークピース)	1955-1956年頃	炆器、ろくろ成形、釉薬	5.0×直径14.0
36-37	アンデシュ・B・リエフォッシュ	2つの花器	1952年	炆器、ろくろ成形、釉薬	高さ9.0、10.5
38	リサ・ラーソン	鉢(ユニークピース)	1960年頃	炆器、ろくろ成形、一部釉薬	9.8×直径30.0
39	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1960年代	炆器、ろくろ成形、一部釉薬	9.5×直径12.0
40	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1955-1956年頃	炆器、ろくろ成形、一部釉薬	13.2×直径11.5
41	ヴィルヘルム・コーゲ	花器	1950年代	炆器	高さ30.6
42	ハッタ・ヒルフォン	彫刻	1970年代-1980年代(推定)	陶器、無釉	28.0×28.0×22.0
43	トシュテン・レーンクヴィスト	ゾウ	1980年代	陶器	18.2×14.7×12.0
44	アンデシュ・B・リエフォッシュ	花器	1955-1957年頃	炆器、砂型鋳造、釉薬	21.5×直径6.5
45	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1960年代	炆器、ろくろ成形、手描き、釉薬	112.0×195.4
46	ブリット=ルイース・サンデル	花器	1950年代中期	炆器、黒化粧	高さ11.5
47	エーリス・エリクソン	抽象彫刻	1950年代後期	炆器、手びねり、一部釉薬	18.7×21.5×17.0
48	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ(原型作品)	1954-1955年	炆器、釉薬	130.0×192.7
49	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ	1955年-1956年	炆器、釉薬	116.7×91.0
50	リサ・ラーソン	鳥形鉢(ユニークピース)	1950年代	炆器、釉薬	73.1×99.8
51	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1960年代初期	炆器、ろくろ成形、一部釉薬	90.0×116.0
52	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1960年頃	炆器、ろくろ成形、一部釉薬	130.0×89.0
53	ステイグ・リンドベリ	花器	1960年代	炆器、釉薬	9.5×直径11.0
54	ステイグ・リンドベリ	花器	1960年代	炆器、釉薬	12.8×9.0×8.0
55	リサ・ラーソン	キツネ/小さな動物園シリーズ	製造1956-1968年	炆器、泥漿鋳込、一部釉薬	7.0×13.0×6.0
56	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	製造1956-1978年	炆器、泥漿鋳込、一部釉薬	11.0×12.0
57	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	製造1956-1978年	炆器、泥漿鋳込、一部釉薬	12.0×8.0
58	リサ・ラーソン	トラ/アフリカシリーズ	製造1965-1975年	炆器、泥漿鋳込、一部釉薬	8.3×26.5×7.5
59	リサ・ラーソン	クマ	製造1970年代	炆器、泥漿鋳込、釉薬	10.0×15.0×8.5
60	リサ・ラーソン	ロバ/大きな動物園シリーズ	製造1960-1968年	炆器、泥漿鋳込、釉薬	10.0×15.0×8.5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
61	リサ・ラーソン	マリン／ラーソン家の子どもたちシリーズ(原型作品)	製造1962-1980年	炆器、一部釉薬	18.3×11.5×7.0
62	リサ・ラーソン	ロッタ／ラーソン家の子どもたちシリーズ	製造1962-1979年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	17.1×10.0×9.0
63	リサ・ラーソン	カッレ／ラーソン家の子どもたちシリーズ	製造1964-1980年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	18.5×13.0×7.5
64	リサ・ラーソン	ペッレ／ラーソン家の子どもたちシリーズ	製造1964-1980年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	20.0×8.5×7.5
65	リサ・ラーソン	ヨハンナ／ラーソン家の子どもたちシリーズ(テストピース)	製造1962-1980年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	17.0×10.0×10.0
66	リサ・ラーソン	ライオン(マキシ)／アフリカシリーズ	製造1968年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	39.0×35.0×37.0
67	リサ・ラーソン	ネコ(マキシ)／大きな動物園シリーズ(原型作品) 現在の愛称:ミア	1965年	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬	34.5×23.0
68	リサ・ラーソン	ネコのトゥルル／トリップ・トラップ・トゥルルシリーズ(原型作品)	1968年頃	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬	26.0×13.5
69	リサ・ラーソン	ブルドック(マキシ)	製造1972-1980年代	炆器、泥漿鑄込、釉薬	35.0×30.0×43.0
70	リサ・ラーソン	ブルドック(ミディアム)	製造1972-1987年	炆器、釉薬	13.5×13.5×13.0
71	リサ・ラーソン	ネコ／大きな動物園シリーズ	製造1958-1979年	炆器、泥漿鑄込、釉薬	12.0×33.0
72	撮影者不詳	リサ・ラーソンとネコたち	1950年代	写真	30.0×40.0
73	オーヴ・ワリン	リサ(グスタフスベリ社のリサの工房にて)	1960年代	写真	30.0×21.0
74	リサ・ラーソン	スティグ・リンドベリの肖像(ユニークピース)	1990年代	炆器、釉薬	30.5×20.0×8.0
75	リサ・ラーソン	グンナル・ストレングスウェーデン財務大臣の貯金箱	1972-1984年	炆器、釉薬	20.0×9.0×8.0
76	リサ・ラーソン	社会討論(原型作品)	1968年頃	炆器、釉薬	39.0×33.0×8.0
77	リサ・ラーソン	社会討論(小)	1969-1974年	炆器、釉薬	23.0×26.0×13.0
78	リサ・ラーソン	キャンドルタワー(ユニークピース)	1960年代	炆器、ろくろ成形、透彫、釉薬	89.0×27.0
79	リサ・ラーソン	かかし	1970-1971年	炆器	34.5×23.0×11.0
80	リサ・ラーソン	ウマに乗る人(ユニークピース)	1960年代	炆器、手びねり、釉薬	17.5×18.5×5.5
犬					
81-87	リサ・ラーソン	イヌ(ユニークピース)	2000年代	炆器、手びねり、釉薬	9.3×11.5他
88-92	リサ・ラーソン	イヌ(ユニークピース)	2000年代	炆器、手びねり、釉薬	7.0×10.0他
93-96	リサ・ラーソン	イヌ(ユニークピース)	2000年代	炆器、手びねり、釉薬	11.0×19.0他
アメリカでの1年					
97	リサ・ラーソン	壺をのせた木のキャンドルホルダー(ユニークピース)	1960年代後半	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬、一部金めっき	32.0×27.0×25.0
98	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー(ユニークピース)	1960年代後期	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬、一部金めっき	19.0×17.5×16.5
99	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー(ユニークピース)	1970年頃	炆器、ろくろ成形、手びねり、釉薬、一部金めっき	46.0×30.0×30.0
100	リサ・ラーソン	ゴールデン・ツリー	製造1969-1973年	炆器、泥漿鑄込	38.2×28.5×12.5
101	リサ・ラーソン	木製の木	1960年代後半	外丸削りした木	29.5×20.0×20.0
102	作者不詳	マーメイド	1960年代	粘土、絵付け	26.0×24.0×10.0
103	作者不詳	教会彫刻	1960年代	土器	23.0×12.5×10.0
104	リサ・ラーソン	人形	1960年代	張子	19.0×7.5
-105	リサ・ラーソン	ゾウ／トラフィックシリーズ	1971-1973年	炆器	20.0×9.0×7.5
106	リサ・ラーソン	車／トラフィックシリーズ(原型作品)	1969年	炆器、釉薬	13.0×18.0×7.5
107	リサ・ラーソン	車／トラフィックシリーズ	1971-1973年	炆器	12.4×16.0×7.7
108	リサ・ラーソン	車／トラフィックシリーズ	1971-1973年	炆器	22.0×15.0×15.0
109	リサ・ラーソン	飛行機／トラフィックシリーズ	1971-1973年	炆器	17.0×25.0×13.5
110	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ／トラフィックシリーズ(原型作品、ユニークピース)	1969年	炆器、釉薬	9.0×17.0×6.5
111	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ／トラフィックシリーズ(テストピース)	1970年頃	炆器、釉薬	13.0×18.0×10.0他
-113	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ／トラフィックシリーズ(テストピース)	1970年頃	炆器、釉薬	13.0×18.0×10.0他
114	リサ・ラーソン	木製のトリ	1970年	木、施盤加工、絵付け	各17.0×15.5×6.8
-129	リサ・ラーソン	木製のトリ	1970年	木、施盤加工、絵付け	各17.0×15.5×6.8
130	撮影者不詳	リサ、グスタフスベリ社の工房にて	1978年	写真	19.0×14.5
131	オルレ・ウォーラー	レリーフを設置するリサとグンナルヨーテボリのルンドビー学校にて	1960	写真	24.0×27.0
132	エンゾ・ボワール	リサ グスタフスベリ社の工房にて	1970年	写真	40.0×20.0
133	ニクラス・グスタフソン	リサとグンナル、ヘガネスミュージアムにて共に展示	2008年	写真	21.0×29.6
134	エマ・マトソン	リサ スコーネ地方にて	2014年	写真	30.3×21.0
テーブルデザイン					
135	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー(原型作品)	1965年代頃	炆器、ろくろ成形、手びねり	11.0×14.0×9.2
136	リサ・ラーソン	ブタの貯金箱	製造1965年	プリントウェア、鑄込成形、釉薬	9.4×15.0×8.0
137	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー(原型作品)	1965年	ろくろ、手びねり、炆器	13.0×24.0×18.0
138	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー／ストロングシリーズ	1970年代	炆器、泥漿鑄込	7.0×10.5他
-143	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー／ストロングシリーズ	1970年代	炆器、泥漿鑄込	7.0×10.5他
144	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー／トランペットシリーズ	1988年-2005年	プリントウェア、釉薬	14.5×9.0×9.0
-146	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー／トランペットシリーズ	1988年-2005年	プリントウェア、釉薬	14.5×9.0×9.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
147	リサ・ラーソン	カップ／マチルダシリーズ	1960年代	プリントウェア、釉薬	7.0×直径11.5
148	リサ・ラーソン	鉢／マチルダシリーズ	1960年代	プリントウェア、釉薬	5.5×直径15.0
149	リサ・ラーソン	ブタのキャンドルホルダー／マチルダシリーズ	1960年代	プリントウェア、釉薬	7.5×32.5×6.5
150 -154	リサ・ラーソン	鉢、カップ、皿／ヤングシリーズ	1988-2005年	炆器、釉薬	6.5×直径19.0他
155	リサ・ラーソン	絵皿／アストラカンシリーズ	1970年代	プリントウェア、ろくろ成形、釉薬	5.0×直径20.0
156	リサ・ラーソン	ランプシェード	1960年代	プリントウェア、ろくろ成形、釉薬	23.0×直径20.0
157	リサ・ラーソン	皿／アストラカンシリーズ	1985年	プリントウェア、泥漿焼込、釉薬	3.0×17.0×20.0
158	リサ・ラーソン	カップ&ソーサー／マチルダシリーズ(ブラウンバージョン)	1970年代	炆器、釉薬	70.0×11.5他
グスタフスベリの工房を離れて					
159 -162	リサ・ラーソン	トリの花器	1985年	磁器、釉薬	13.5×10.7他
163	リサ・ラーソン	植木鉢	製造1982-1983年	泥漿焼込、炆器	20.0×12.5×12.5
164 -166	リサ・ラーソン	3つの花器	1985年	磁器、釉薬	11.5×直径9.0
167	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	1980年代	炆器、釉薬	22.0×直径16.0
鳥					
168	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1968年	炆器、釉薬	22.7×14.5×8.5
169	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1969年	炆器、釉薬	16.4×16.0×8.0
170	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1971年	炆器、釉薬	21.5×16.0×8.5
171	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1972年	炆器、釉薬	13.0×16.4×8.5
172	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1974年	炆器、釉薬	15.5×14.0×10.0
173	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1982年	炆器、釉薬	16.7×15.0×11.0
174	リサ・ラーソン	トリ(ユニークピース)	1980年	炆器、釉薬	18.0×15.6×9.5
レリーフ					
175	リサ・ラーソン	青を背景にしたトリ	1963年	炆器、砂型焼込、釉薬	17.5×29.0×1.5
176	リサ・ラーソン	レリーフ(ユニークピース)	1960年代	炆器、砂型焼造とたたたら、一部釉薬	14.0×18.0×5.0
177 -180	リサ・ラーソン	司教	1963-1969年	炆器、泥漿焼込、一部釉薬	9.5×45.0×13.0
181	リサ・ラーソン	檻の中のライオン	1963年	炆器、一部釉薬	32.0×46.6×2.0
182 -185	リサ・ラーソン	近衛兵シリーズ	1967-1973年	炆器、釉薬	31.0×13.0×1.0
186	リサ・ラーソン	レリーフの習作／近衛兵シリーズ	1960年代	炆器、手びねり、一部釉薬	20.0×17.0×2.0
187	リサ・ラーソン	ウマに乗る人(ユニークピース)	1950年代初期	炆器、手びねり、釉薬	20.0×22.5×4.5
188	リサ・ラーソン	ロバ(ユニークピース)	1950年代中期	炆器、手びねり、釉薬	20.0×30.2×2.4
189 -190	アンデシュ・B・リリエ フォッシュ	2つのレリーフ	1950年代	炆器、砂型焼込	21.0×16.0他
191	リサ・ラーソン	レリーフ	1960年代	炆器、砂型焼込、釉薬	11.0×9.5
192	リサ・ラーソン	初期の抽象的なレリーフ	1960年代	炆器、砂型焼込、釉薬	20.0×47.5×3.5
193	リサ・ラーソン	立つ女(ユニークピース)	1960年代	炆器、砂型焼込、釉薬	55.0×25.0×3.0
194	リサ・ラーソン	曲芸師のレリーフの習作／道化師シリーズ(ユニークピース)	製造1959-1960年	炆器、泥漿焼込、手びねり、釉薬	38.0×20.0×7.0
人物像					
195	リサ・ラーソン	人物像(ユニークピース)	1995年	炆器、釉薬	16.0×15.0×7.0
196	リサ・ラーソン	男性像(ユニークピース)	1975-1976年	炆器、釉薬	21.0×11.0×16.0
197 -198	リサ・ラーソン	ビーチにいる二人(ユニークピース)	1970年代	炆器、釉薬	28.0×9.3×7.5他
199	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1970年頃	炆器、釉薬	15.2×14.0×12.2
200	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1970年頃	炆器、釉薬	13.6×12.4×10.7
201	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1970年代	炆器、釉薬	15.0×11.0×7.0
202	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1970年頃	炆器、釉薬	13.2×13.3×10.0
203	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1970年	炆器、釉薬	13.0×16.0×11.0
204	リサ・ラーソン	ネコを抱いた女性(ユニークピース)	1959-1962年頃	炆器、釉薬	17.5×12.0×12.0
205	リサ・ラーソン	思想家(ユニークピース)	1959年-1962年頃	炆器、釉薬	15.5×20.0×18.0
206	リサ・ラーソン	イヌを抱いた女性	1959-1962年	炆器、釉薬	18.0×12.0×12.0
207	リサ・ラーソン	女王とプリンス(ユニークピース)	1960年代後半	炆器、釉薬	28.0×12.0×18.2
208	リサ・ラーソン	立つ女性(ユニークピース)	1969年	炆器、釉薬	23.3×10.0×7.5
209	リサ・ラーソン	立つ女性(ユニークピース)	1974年	炆器、釉薬	33.5×12.0×18.2
210	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1969年	炆器、釉薬	25.0×12.0×12.0
211	リサ・ラーソン	女性像(ユニークピース)	1993年	炆器、釉薬	23.0×9.0×9.0
212	リサ・ラーソン	座る女性(ユニークピース)	1978年	炆器、釉薬	27.4×12.3×14.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
213	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	1970年代	炆器、釉薬	16.0×10.0×9.0
214	リサ・ラーソン	座る男性 (ユニークピース)	1980年代	炆器、釉薬	20.0×10.5×7.5
215	リサ・ラーソン	座る男性 (ユニークピース)	1976年	炆器、釉薬	17.8×9.5×9.0
216	リサ・ラーソン	座る人物像 (ユニークピース)	1980年	炆器、釉薬	18.5×9.0×8.0
リサ・ラーソンと日本 両思い、Mutral love: Lisa and Japan					
217	作者不詳	日本の木版画	制作年不詳	日本の木版画	36.3×30.4×1.0
218	リサ・ラーソン	マスク 芸者	1970年代	炆器	25.0×21.0×4.5
219	リサ・ラーソン	マスク 悪魔	1970年代	炆器	14.6×19.0×2.0
220	リサ・ラーソン	マスク 芸者	1970年代	炆器	25.0×21.0×4.5
221	リサ・ラーソン	日本女性	製造1958-1973年	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	26.0×12.0×12.0
222	濱田庄司	柿釉大皿	1970年頃	炆器、釉薬	5.0×直径27.4
223	藤井恵美	煎茶器と長皿	2000年代	炆器	3.5×14.5×51.0他
224	リサ・ラーソン	おさけとり(金)／ジャパンシリーズ	2015年	磁器、釉薬	12.2×11.0×8.0
225	リサ・ラーソン	パンキークー／日本限定版 (原型作品)	2013年	炆器、手びねり、無施釉	9.2×9.9×6.9
226	リサ・ラーソン	ハリー／日本限定版 (原型作品)	2013年	炆器、手びねり、釉薬	6.0×8.8×6.9
人形とおもちゃ					
227	リサ・ラーソン	パペット人形 (インド)	1960年代	木、布	46.0×16.0
228	リサ・ラーソン	パペット人形 (インド)	1960年代	木、布	32.0×6.0
229	リサ・ラーソン	シンバル人形 (インド)	1960年代	木、布、金属、張子	36.0×10.0
230 -236	リサ・ラーソン	世界の人形コレクション (アメリカ[ニューメキシコ州]、クロアチア、日本、マルタ、モロッコ)	1960-1970年代	布、革、紙	高さ12.0~24.0
237	作者不明	人形を乗せたウマのおもちゃ	1970年代	木	18.5×15.0×8.0
238	作者不詳	人を乗せたウマ	1980年代	木	33.5×36.0×6.0
239	作者不詳	ウマ	制作年不詳	木、手描き	22.0×20.0×6.0

色もよう心もよう展

会期：2020年12月5日(土)～2021年1月31日(日) 44日間

主催：北海道立函館美術館

共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMIいるか

協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：1,436名

観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上及び中学生以下無料

私たちのまわりには、たくさん色があふれている。空や海、動植物などの自然から、建物、衣服、生活用品といった人工物にいたるまで、それぞれ異なる色をもっている。本展覧会はそのような色をテーマに、当館のコレクションを通じて、美術の世界をたっぷりと楽しんでもらうことを目的としたものである。自然の豊かな色合いや、個々の色がもたらす印象の違いなどに注目しながら、作品にこめた作者の思いに想像をめぐらす機会となった。

【関連事業】

見どころ解説

日時：12月19日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：10名

2021年1月16日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：12名

講師：当館学芸員

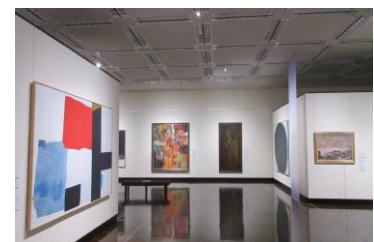
会場：当館講堂



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



会場風景

出品目録

No.	作者	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
I 章 季節の色 自然の色					
1	益田 春光	春譜	1989(平成元)	紙本彩色	65.2×80.3
2*	繁野 三郎	早春	不詳	水彩、紙	41.5×56.3
3*	田辺 三重松	五稜郭跡「早春」	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	90.9×115.0
4	田辺 三重松	早春街景	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	72.0×89.2
5	池谷 寅一	元町の春	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	130.0×162.3
6*	佐野 忠吉	初夏	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	80.0×100.0
7*	田辺 三重松	ポプラの道	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	34.4×43.4
8*	田辺 三重松	トラピスト修道院の夏	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	80.5×117.0
9*	田辺 三重松	夏の港町	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
10	国松 登	黄秋	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	116.4×91.0
11	天野 宮蔵	晩秋のトラピスト修道院	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	130.5×162.5
12	池谷 寅一	修道院晩秋	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	129.0×161.0
13	三箇 三郎	冬	1952(昭和27)	油彩、キャンバス	91.0×116.8
14*	田辺 三重松	雪晴れの小道	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	96.0×143.2
15*	田辺 三重松	函館風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	96.5×130.5
16	鵜川 五郎	農園冬景	1995(平成7)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
II 章 色は語りかける					
17*	田辺 三重松	薔薇	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	90.0×91.0
18 -27	アンディ・ウォーホル	キャンパル・スーパ II	1969	シルクスクリーン、紙	130.0×162.0
28	長谷川 湊二郎	蜜柑とレモン	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	130.2×162.0
29	佐野 忠吉	ひまわり	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	130.0×161.5
30	宮西 詔路	羊群帰る	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	95.5×128.5
31	橋本 三郎	マレー地区の古い家	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
32	鎌田 俳捺子	星と海	2004(平成16)	油彩、キャンバス	161.7×130.3
33	岩船 修三	小鳥を捕えたコロボックル	1966(昭和41)頃	油彩、キャンバス	95.5×128.5
34	鵜川 五郎	山裾 みどりの中の衆落	2005(平成17)	油彩、キャンバス	44.2×51.8
35	北上 聖牛	富士	1940(昭和15)	絹本彩色	59.4×71.5
36	三箇 三郎	冬晴	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	59.3×71.5
37	前田 政雄	樹水	1954(昭和29)	木版、紙	36.8×44.3
38	前田 政雄	北海道風景版画 夜の函館	1961(昭和36)	木版、紙	52.0×63.8
39	木村 訓丈	六つのはまなすの実	1985(昭和60)	アクリル、キャンバス、パ ネル	44.2×51.7
40	三箇 三郎	廃工場	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	72.0×89.8
41	池田 幹雄	月の沙漠	2001(平成13)	紙本彩色	60.6×72.7
42	金子 卓義	日月	1995(平成7)	墨、紙	44.3×51.8
43	前田 政雄	梨ブドウ(緑)	1950(昭和25)	木版、紙	48.8×59.3
44	前田 政雄	梨ブドウ(橙)	1950(昭和25)	木版、紙	64.0×79.1
45	前田 政雄	梨ブドウ(黄)	1950(昭和25)	木版、紙	30.7×40.0
46	池谷 寅一	毛糸帽子の自画像	1923(大正12)	油彩、キャンバス	91.0×116.8
47		三彩鍔	唐代8世紀	陶磁	71.5×59.7
48		三彩水注	唐代9世紀	陶磁	89.5×115.5
49		三彩仙童陶枕	宋代	陶磁	24.0×11.0×7.5
50		青磁陰刻龍文鉢	高麗11世紀	陶磁	80.3×100.0
51		青磁陰刻花文鉢	高麗12世紀	陶磁	44.5×52.0
52		青磁象嵌八角面取花文水滴	高麗14世紀	陶磁	60.0×72.0
53		青磁油壺	高麗14世紀	陶磁	72.7×60.6
54		青花瓜文壺(景德鎮窯)	明代末期	陶磁	20.0×20.0×18.0
55		古九谷瑞鳥文皿	江戸前期	陶磁	20.0×20.0×3.0
56		古九谷雲雁文五彩七寸皿	江戸前期	陶磁	20.5×20.5×3.0
57	浅蔵 五十吉	花と鳩(九谷)	1985(昭和60)	陶磁	25.0×25.0×3.0

No.	作者	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
III章 ひびきあう色					
58	木田金次郎	漁村放牧	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	65.1×80.3
59	岩船 修三	樹	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
60	蛭子 善悦	カンヌの夕映え	1991(平成3)	油彩、キャンバス	65.5×100.0
61	荒川 修作	DISTANCE OF FORMING/MODEL BY MODEL/THE	1980(昭和55)	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	86.6×160.0
62	小川 東洲	鶴	1977(昭和52)	墨、紙	67.5×59.3
63	中島 莊牛	睡蓮	2006(平成18)	墨、紙	57.0×237.0
64	篠田 桃紅	漸く	1991(平成3)	墨、銀泥、紙	180.2×136.5
65	近堂 隆志	韻の構築	2008(平成20)	油彩、キャンバス	162.0×259.0
IV章 色の力					
66	三箇 三郎	不凍湖	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	181.8×227.3
67	ジョルジュ・マチュー	グリーン・パロック	1961	油彩、キャンバス	195.0×96.0
68	鎌田 俳捺子	作品	1966(昭和41)	油彩、石膏、漁網カラー ジュ、麻布	197.0×181.5
69	近堂 隆志	黒の韻'07	2007(平成19)	油彩、キャンバス	162.0×259.0
70	石飛 博光	黒白黒黒白	2001(平成13)	墨、紙	118.0×352.0
71	宮西 詔路	告別	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
72	蛭子 善悦	人間地図	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	180.0×140.0
73	橋本 三郎	ツカマレタ鶏	1952(昭和27)	油彩、キャンバス	727.0×90.9
74	箱根 寿保	王たる者	1991(平成3)	油彩、キャンバス	162.5×113.0
75	河原 温	Nov.23, 1971 Todayシリーズ(1966-2013)より	1971(昭和46)	アクリル、キャンバス等	25.4×33.0
76	ジョセフ・コスース	題(芸術としての芸術という概念)	1967	印刷、板	90.9×116.7

作品No.に*のついているものは、函館市寄託。その他は全て当館所蔵。

海と山との対話展

会期：2021年2月6日(土)～4月4日(日) 46日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：1,525名
 観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上及び中学生以下無料

海や山を眺めるとき、私たちは風光明媚な景色に癒されたり、畏怖の念を抱いたり、また親しみを覚えるなど、心を動かされることがある。美術においても、多くの作家がこうした風景に魅せられて主題としてきた。

本展では当館が所蔵するコレクションから、田辺三重松、池谷寅一、国松登らによる、道南をはじめとする風景や自然の魅力に触発されて生み出した作品を紹介し、作家たちが思い描く多様な自然の姿にふれる機会となった。

【関連事業】

見どころ解説

日時：2月6日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：18名
 2月20日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：23名
 講師：当館学芸員
 会場：当館講堂



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



会場風景

出品目録

No.	作者	作品名	制作	材質・形状	寸法(cm)
1章 北の大地を描く					
1	池谷 寅一	駒ヶ岳の秋	不詳	油彩・キャンバス	94.5×128.3
2	池谷 寅一	恵山岬の御先	不詳	油彩・キャンバス	59.5×91.0
3	池谷 寅一	白神岬灯台	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
4	鈴木 良三	恵山夕照	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	80.0×100.3
5	杉浦 左知	峭崖	2008(平成20)	紙本彩色	215.0×170.0
6	木田 金次郎	冬の漁港	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	65.1×80.3
7	長谷川 晶	昭和新山	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	36.0×44.0
8	田辺 三重松	有珠岳	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	130.0×162.0
9	田辺 三重松	神威岬	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	115.0×141.0
10	田辺 三重松	おつけの浜	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	90.9×116.7
11	田辺 三重松	大雪連峰初夏	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	57.5×100.0
12	天間 正五郎	層雲峡	不詳	木版・紙	26.5×40.5
13	岩船 修三	晩秋の旭岳	1970年代	油彩・キャンバス	72.7×60.6
14	市根井 孝悦	朝焼けの十勝岳連峰(トムラウシ山より)		写真・カラープリント	72.8×108.0
15	市根井 孝悦	利尻岳南峰とロウソク岩		写真・カラープリント	72.8×108.0
16	市根井 孝悦	厳冬の大雪山		写真・カラープリント	72.8×108.0
2章 自然と向き合う—前田政雄・瀬戸英樹					
17	前田 政雄	小笠原風景	1935(昭和10)	木版・紙	22.0×29.0
18	前田 政雄	『新日本百景より』小笠原母島	1939(昭和14)	木版・紙	23.0×30.0
19	前田 政雄	太海	1940(昭和15)	木版・紙	39.2×53.8
20	前田 政雄	鶴原	1946(昭和21)	木版・紙	28.8×38.7
21	前田 政雄	焼岳	1948(昭和23)	木版・紙	59.8×45.2
22	前田 政雄	穂高嶽	1945(昭和20)	木版・紙	44.5×58.8
23	前田 政雄	昭和新山	1960(昭和35)	木版・紙	44.3×59.4
24	前田 政雄	妙義山	1942(昭和17)	木版・紙	60.1×88.0
25	前田 政雄	蔵王火口壁	1957(昭和32)	木版・紙	59.0×86.7
26	前田 政雄	戸隠山雪景	1945(昭和20)	木版・紙	52.0×63.8
27	瀬戸 英樹	海峡からの潮風(かぜ) 立待岬	2013(平成25)	油彩・キャンバス	90.9×227.3
28	瀬戸 英樹	海峡からの潮風(かぜ) 昆布干し場	2014(平成26)	油彩・キャンバス	90.9×227.3
29	瀬戸 英樹	海峡からの潮風(かぜ) 立待岬 下絵		水彩、鉛筆、ペン・紙	32.0×82.0
30	瀬戸 英樹	海峡からの潮風(かぜ) 昆布干し場 下絵		水彩、鉛筆、ペン・紙	32.0×82.0
31	瀬戸 英樹	道南風景 スケッチ		水彩、鉛筆、ペン・紙	32.0×82.0
3章 こころの中の風景					
32	三箇 三郎	新山の朝	2000(平成12)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
33	三箇 三郎	氷雪の海	1991(平成3)	油彩・キャンバス	181.8×227.3
34	小松原勝市	湊(あかときみなど)	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	90.8×116.7
35	小松原勝市	遠き船の風景	不詳	油彩・キャンバス	72.0×115.7
36	寺井 浩一	刻まれた時—怒濤	2011(平成23)	ミクストメディア	180.0×360.0
37	鶴川 五郎	山裾の道	1990(平成2)	油彩・キャンバス	130.4×162.3
38	相田 幸男	早春の賦…北へ	2007(平成19)	油彩・キャンバス	162.0×259.0
39	相田 幸男	Au revoir 巴の港	2011(平成23)	油彩・キャンバス	162.0×259.0
40	池田 幹雄	風の記憶	1979(昭和54)	紙本彩色	170.0×228.0
41	木村 訓文	ひとつの風化 Hiroshima	1983(昭和58)	アクリル・キャンバス、パネル	161.0×106.5
42	国松 登	氷上のけものたち	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
43	国松 登	氷上のひと	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	162.2×130.4

No.	作者	作品名	制作	材質・形状	寸法(cm)
44	外山 ムツ子	海辺にてーらせん階段	1989(平成元)	油彩・キャンバス	227.3×162.1
45	鎌田 俳捺子	星と海	2004(平成16)	油彩・キャンバス	161.7×130.3

4章 くらしとともに

46	池谷 寅一	元町B	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	90.9×116.7
47	池谷 寅一	修道院遠望	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×145.5
48	中村 善策	北の国(函館)	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	80.3×130.9
49	近岡 外治郎	谷地頭風景	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	64.5×79.5
50	木村 捷司	松前の村	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	80.3×116.7
51	木村 捷司	函館旧栈橋	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	112.1×162.1
52	池谷 寅一	麓の街	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
53	池谷 寅一	函館の冬晴	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	121.0×145.5
54	田辺 三重松	(夏の)函館港	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	90.0×116.7
55	田辺 三重松	碓泊	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	97.0×145.5
56	田辺 三重松	埠頭風景	1949(昭和24)頃	油彩・キャンバス	32.0×42.0
57	岩船 修三	海の静物	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	130.0×162.3
58	田辺 三重松	海浜の春日	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	162.1×130.3
59	田中 良	港A	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	145.5×112.1

No.8,9,10,49,54,55,58は函館市蔵(当館寄託)、No.29,30,31は個人蔵、その他は当館蔵